

別冊資料

第3次北上市地域福祉計画

第4次北上市地域福祉活動計画

北上市

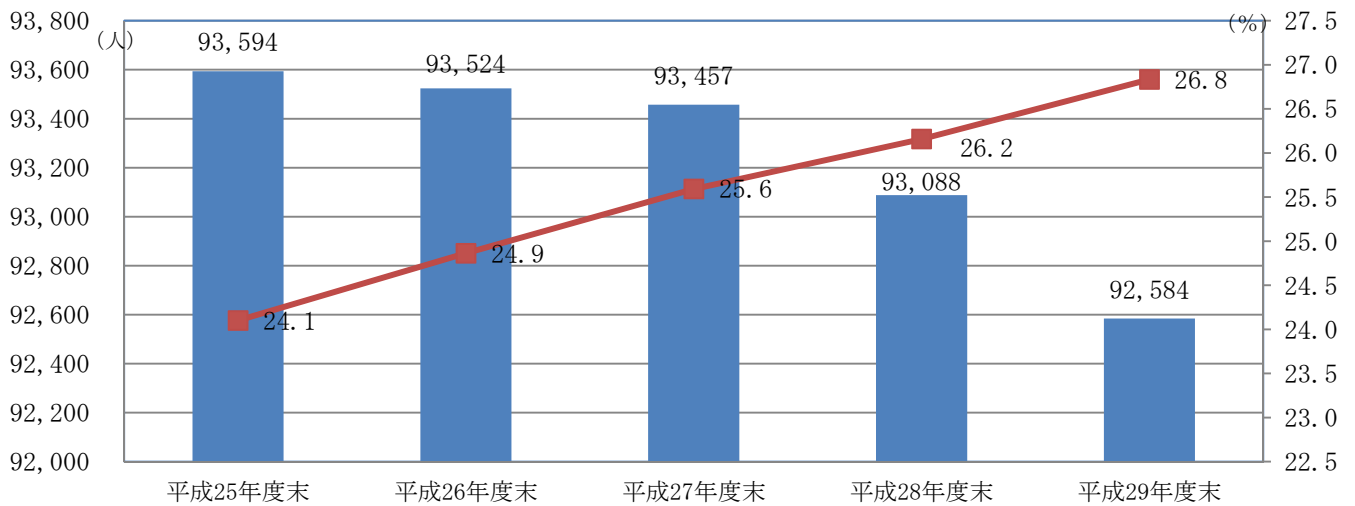
社会福祉法人北上市社会福祉協議会

目 次

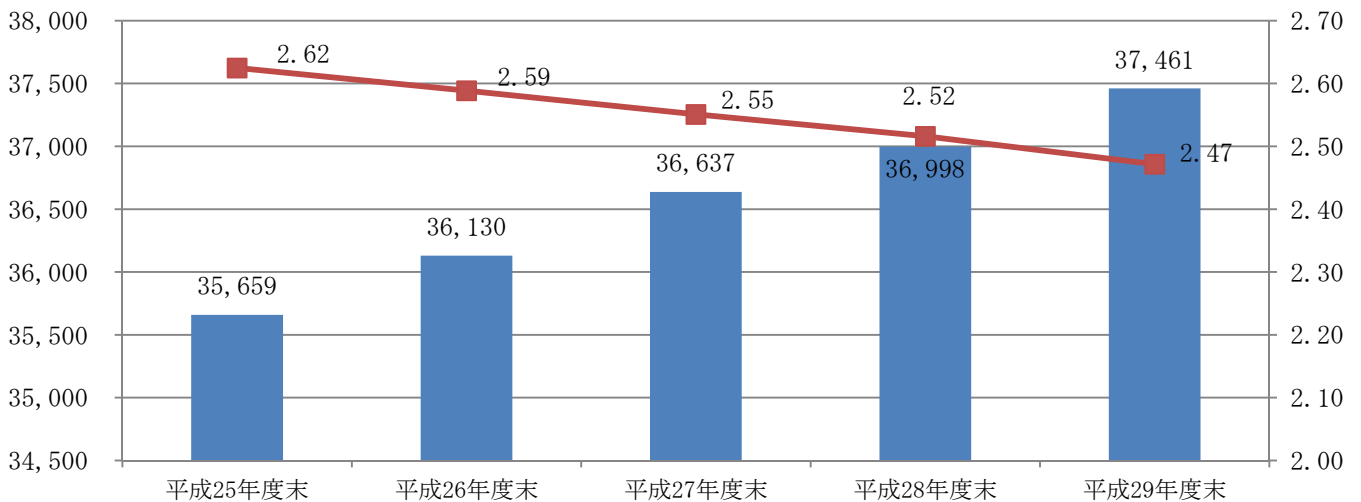
1	北上市の人口等の推移・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1
(1)	総人口と高齢化率	
(2)	世帯数と世帯人員	
(3)	年齢3区分人口	
(4)	地区別の高齢化率	
(5)	ひとり暮らし高齢者世帯数	
(6)	障がい者手帳所持者数	
(7)	生活保護世帯（人員）数	
(8)	介護認定者数	
(9)	自殺者数及び自殺死亡率	
(10)	出生数	
(11)	小学校入学児童数	
(12)	児童扶養手当受給者数	
(13)	民生委員・児童委員	
	①活動状況	
	②活動数	
(14)	市民活動団体	
	①NPO法人認証状況	
	②市民活動団体ガイドブック登録団体数（分野別）	
(15)	ボランティアの状況	
(16)	災害時要援護避難支援登録者名簿	
(17)	市民意識調査（施策の優先度）	
2	北上市地域福祉に関するアンケート調査結果・・・・・・・・・・	8
3	地域福祉懇談会（主な意見、要望）・・・・・・・・・・	17
4	グループインタビューの結果・・・・・・・・・・	25

1 北上市の人口等の推移

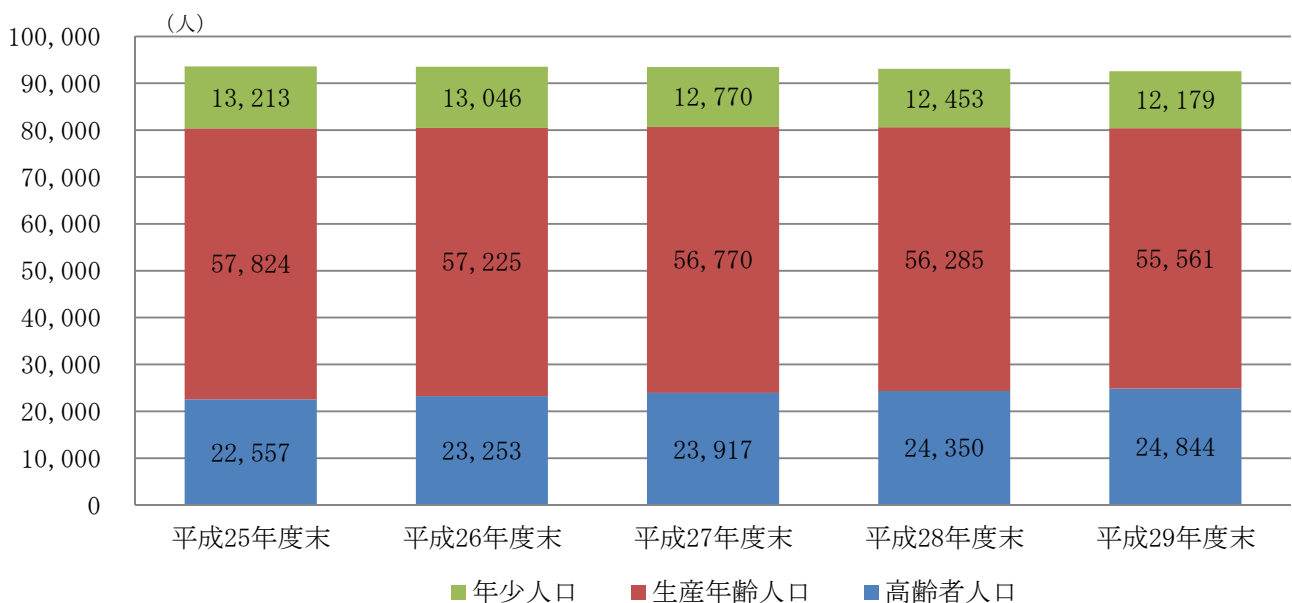
(1) 総人口と高齢化率



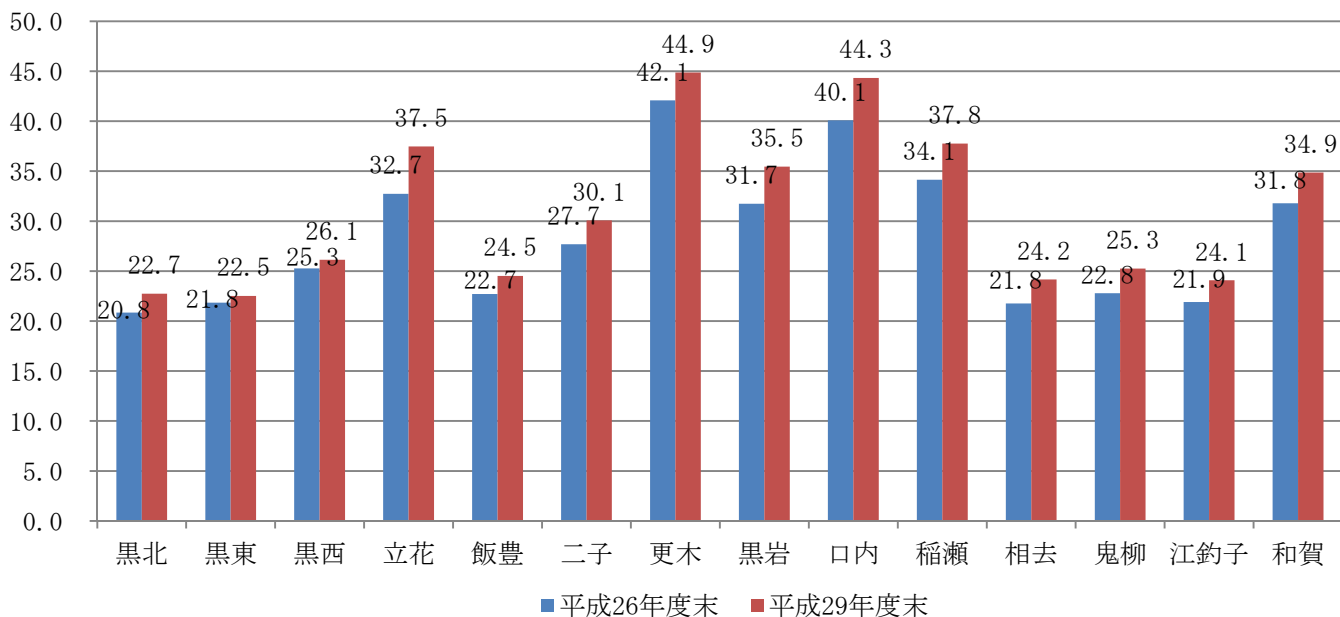
(2) 世帯数と世帯人員



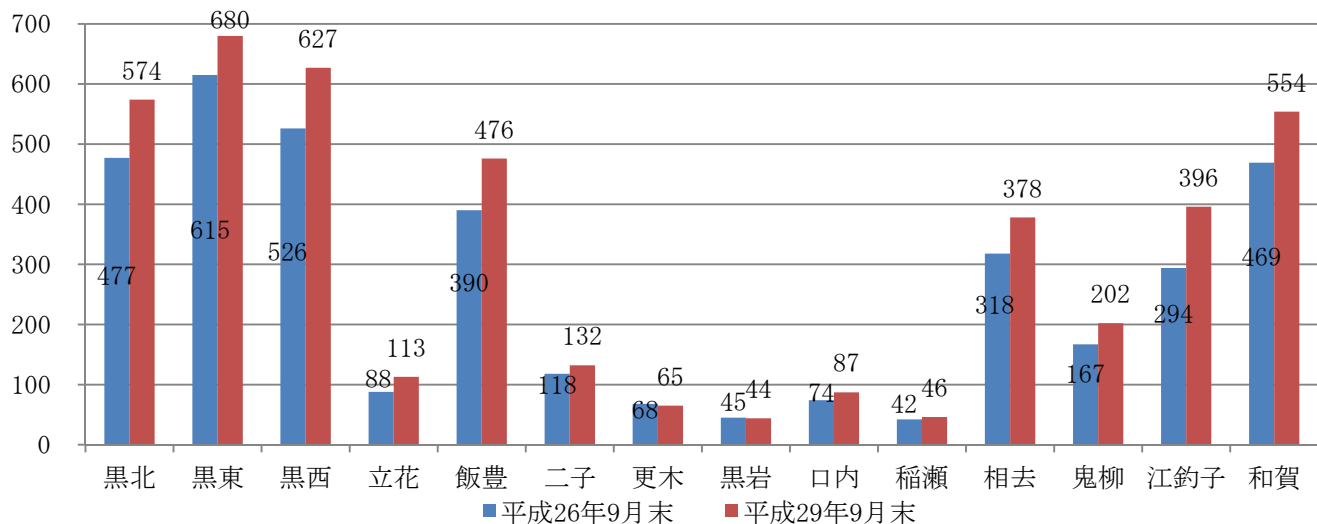
(3) 年齢3区分人口



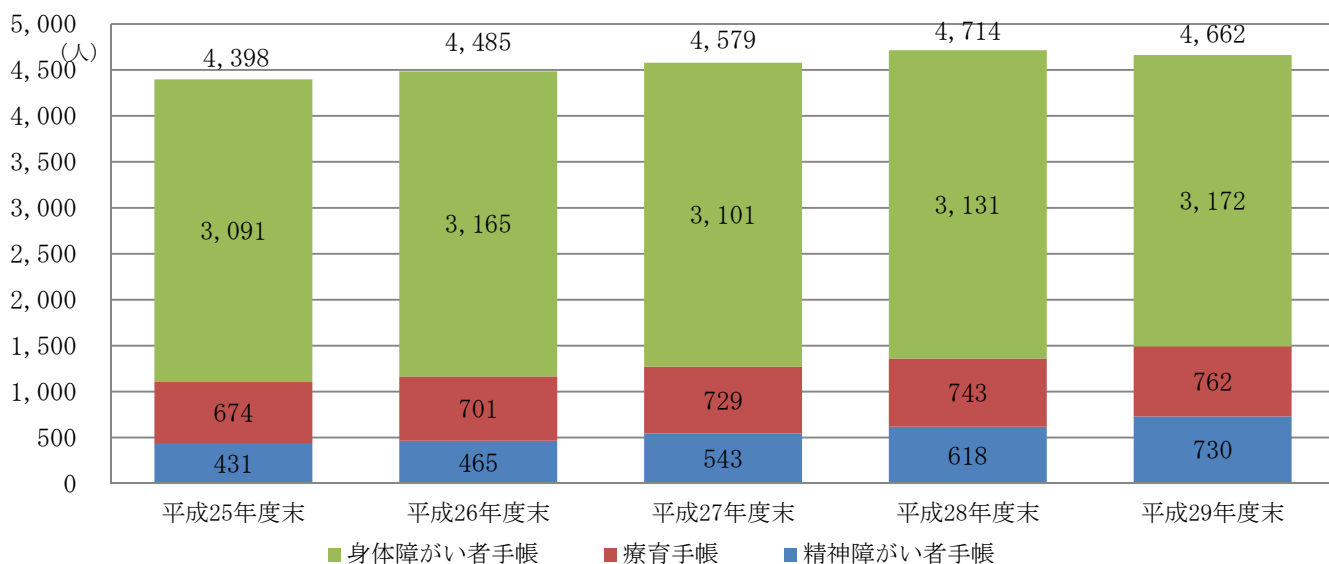
(4) 地区別の高齢化率



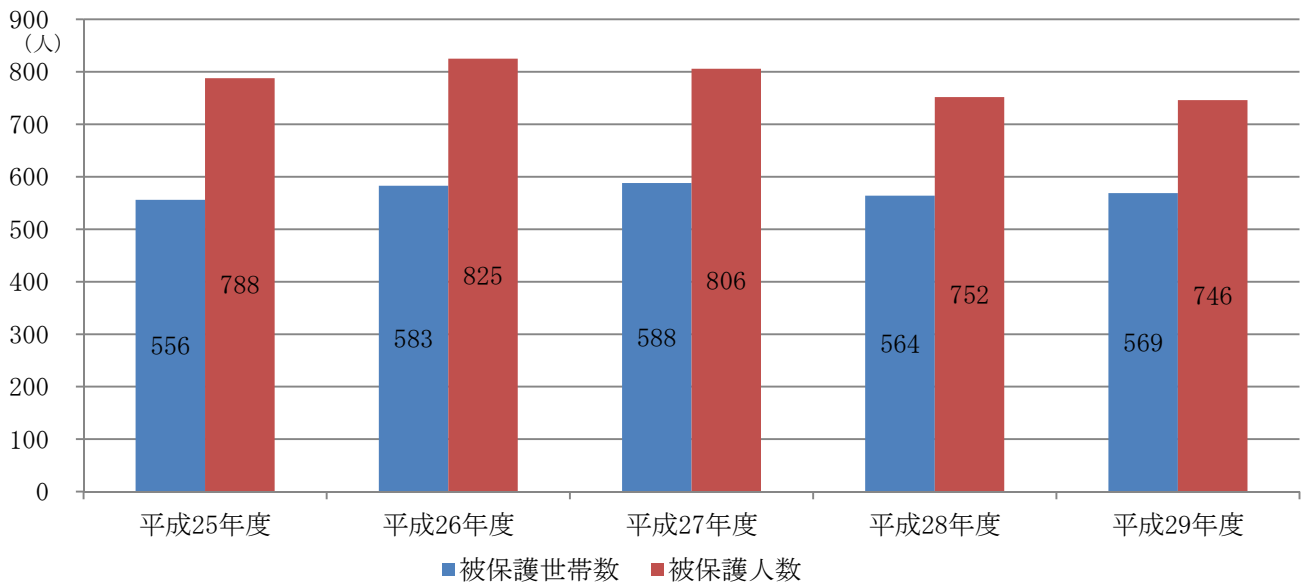
(5) ひとり暮らし高齢者世帯数



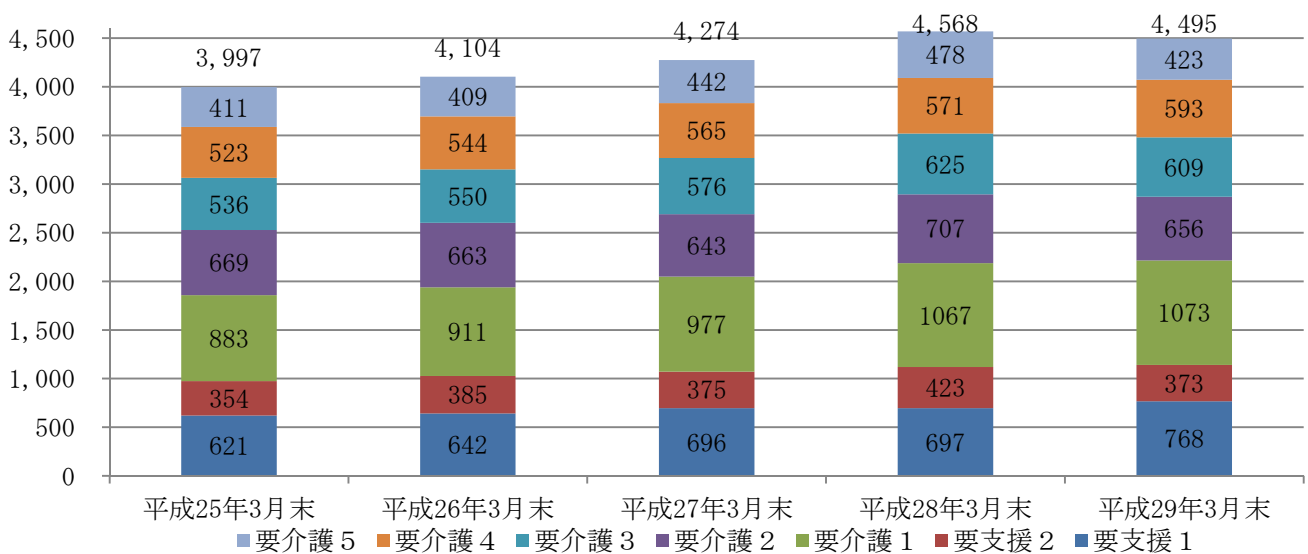
(6) 障がい者手帳所持者数



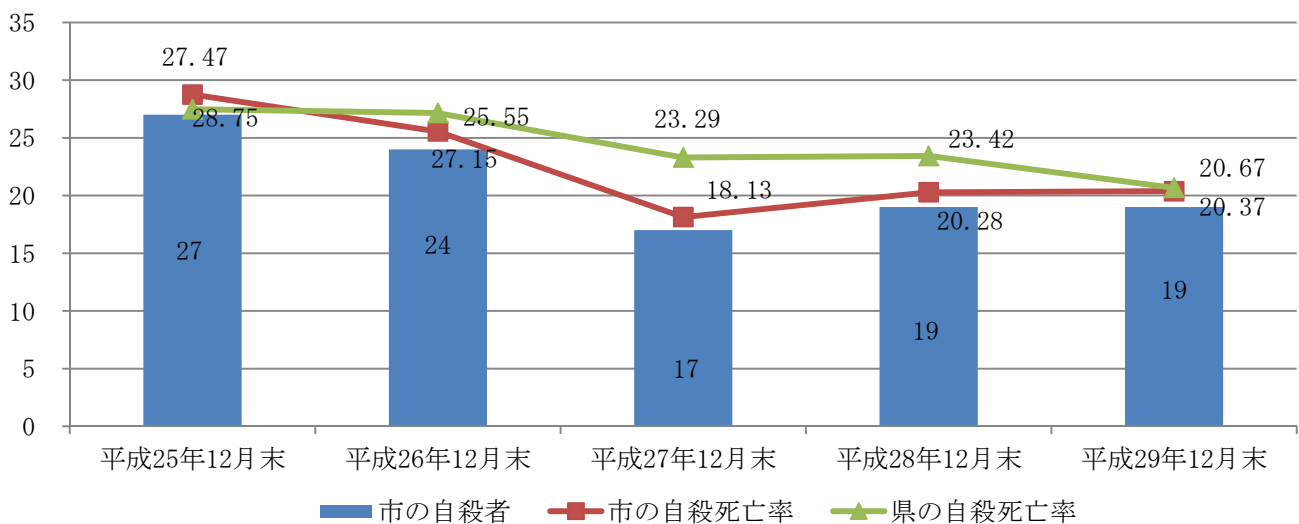
(7) 生活保護世帯（人員）数



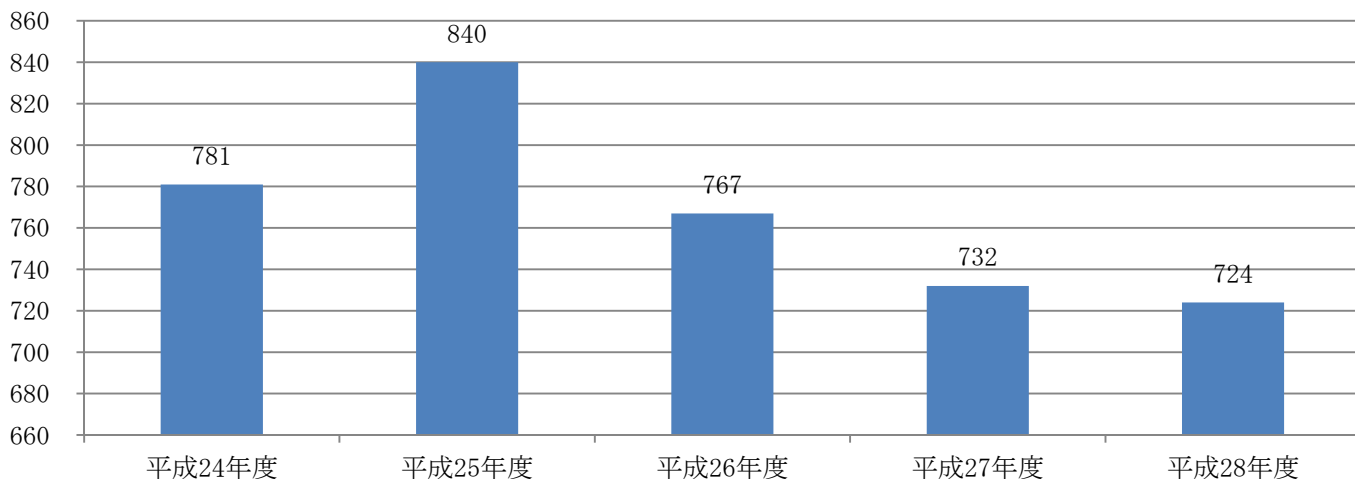
(8) 介護認定者数



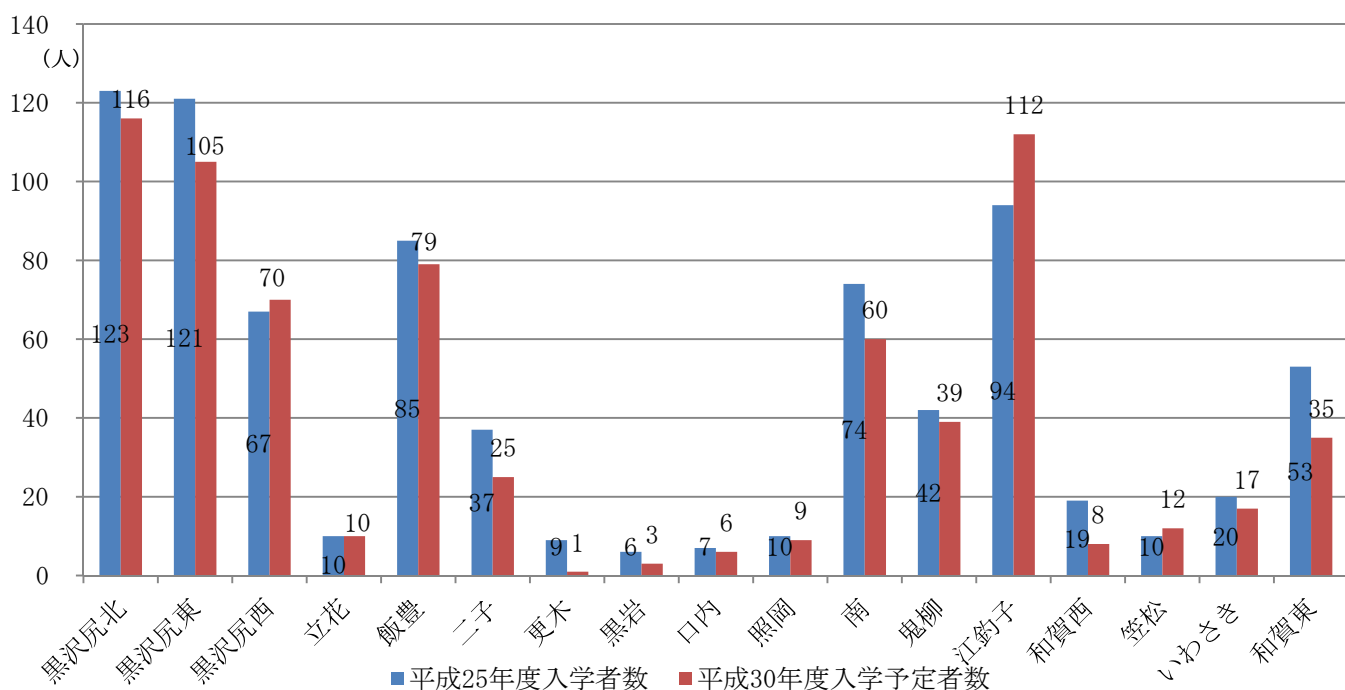
(9) 自殺者数及び自殺死亡率



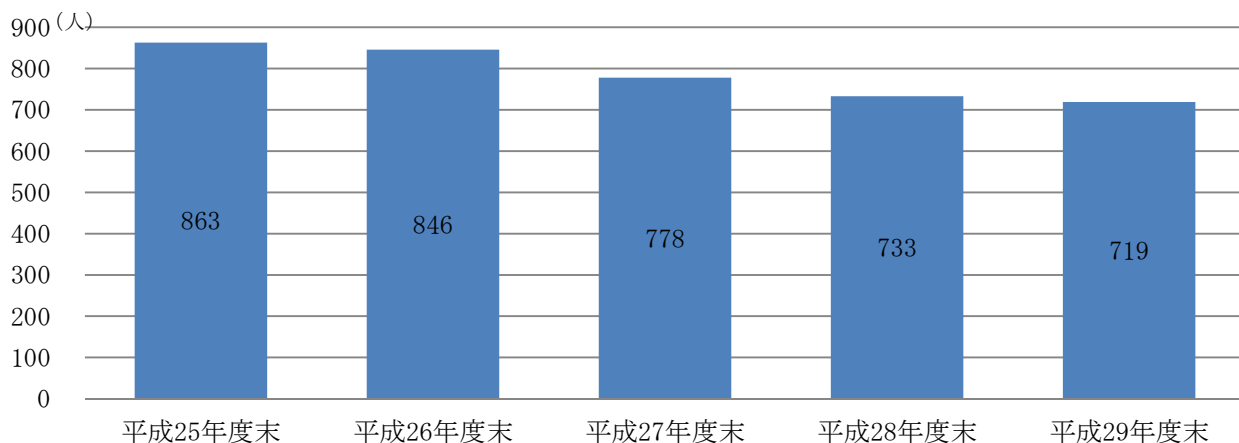
(10) 出生数



(11) 小学校入学児童数

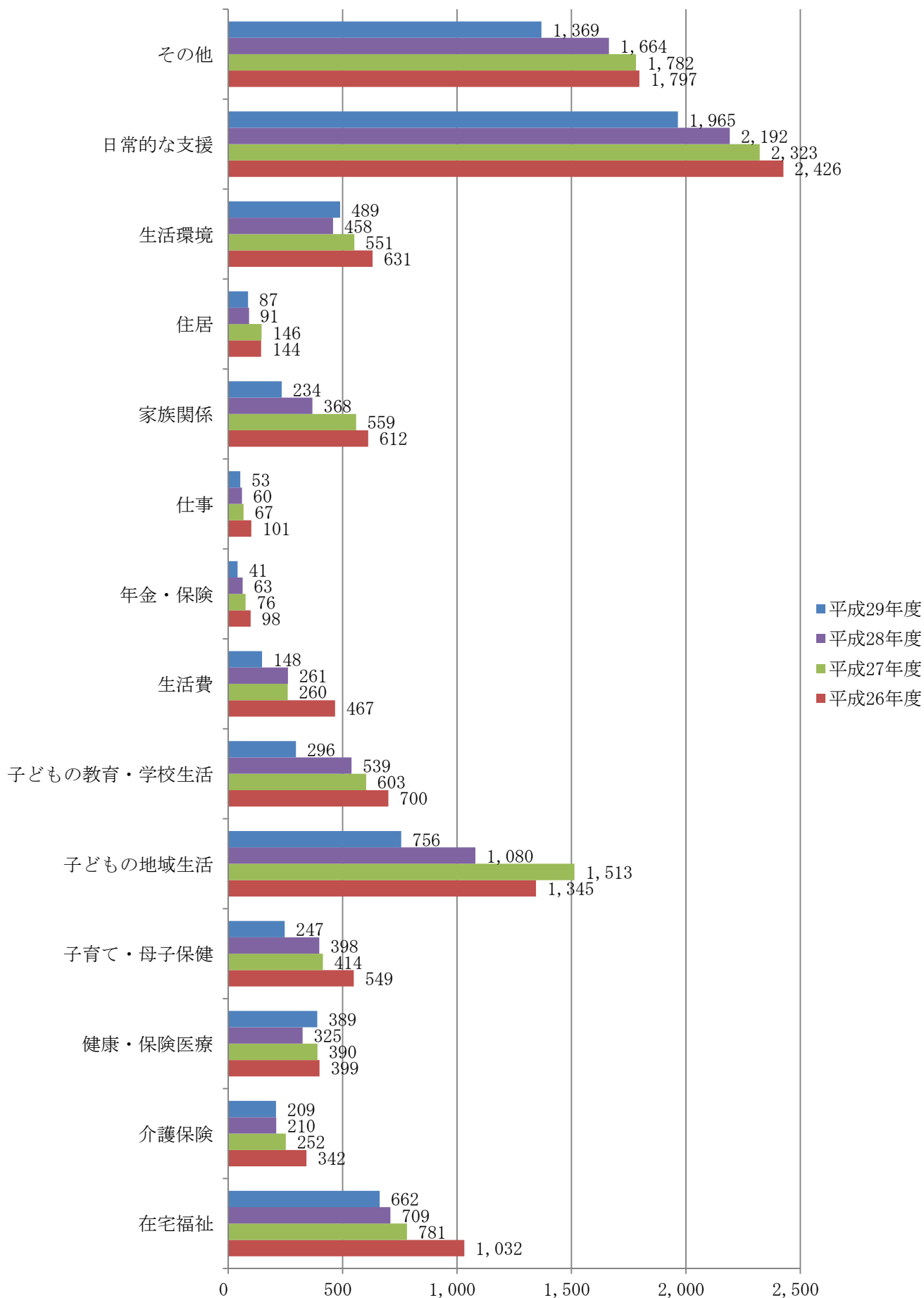


(12) 児童扶養手当受給者数

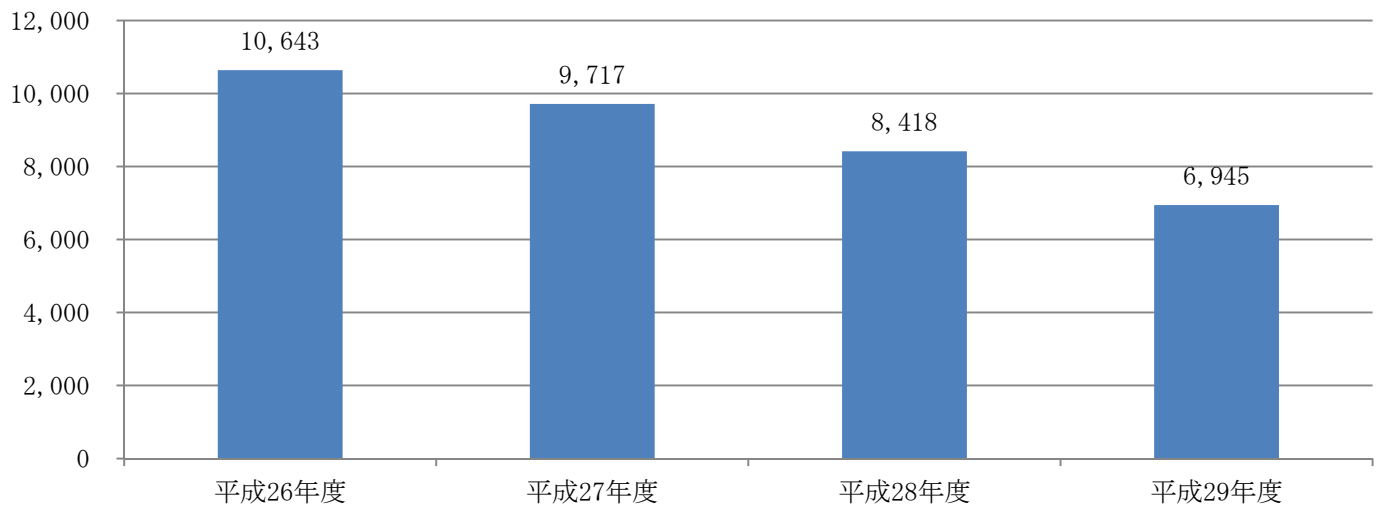


(13) 民生委員・児童委員

①活動状況（相談・支援件数）



②活動数



(14) 市民活動団体

①NPO法人認証状況（平成29年度末現在28団体）

認証年数	団体数	認証年数	団体数
平成12年度	2	平成21年度	1
平成13年度	2	平成22年度	2
平成14年度	0	平成23年度	5
平成15年度	3	平成24年度	3
平成16年度	0	平成25年度	3
平成17年度	1	平成26年度	1
平成18年度	0	平成27年度	0
平成19年度	3	平成28年度	1
平成20年度	1	平成29年度	0
		合計	28

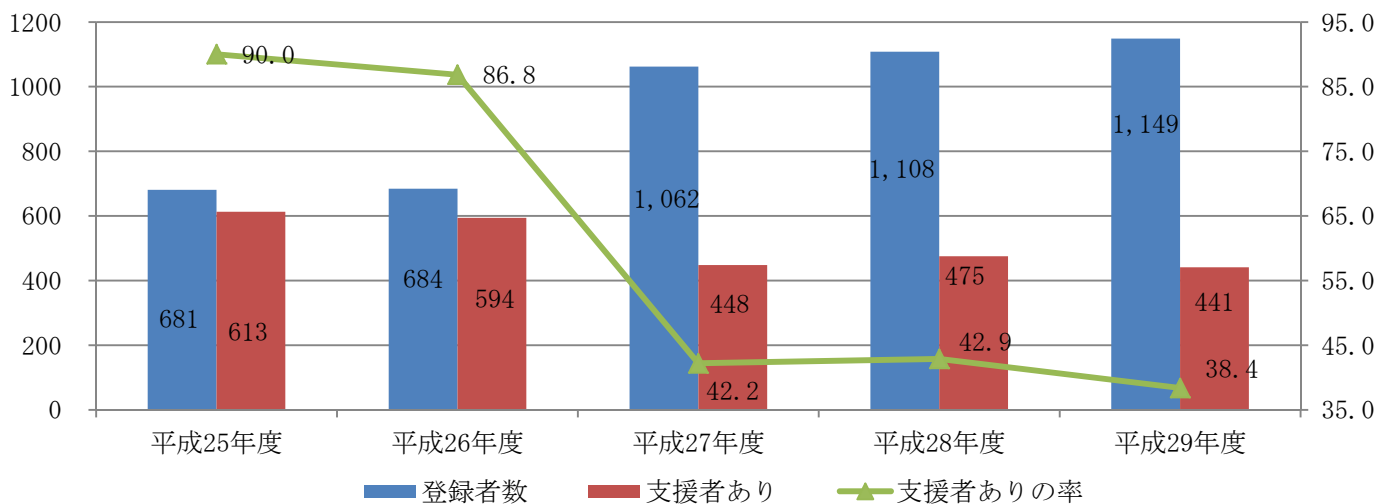
②市民活動団体ガイドブック登録団体数（分野別）

認証年数	団体数	認証年数	団体数
健康・保健・福祉	10	スポーツ	6
社会教育	5	環境	5
まちづくり	14	子どもの健全育成	15
学術・文化・芸術	19	民俗芸能団体	37
		合計	111

(15) ボランティアの状況

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
ボランティア活動センター登録者数	306人	317人	132人	140人	141人
ボランティア保険加入者数	3,243人	3,326人	3,358人	3,314人	3,669人
北上市ボランティア連絡協議会登録団体数	29団体	29団体	30団体	30団体	28団体

(16) 災害時要援護避難支援登録者名簿（避難行動要支援者名簿）



(17) 市民意識調査（施策の優先度）

順位	施策名	優先度
1	子育て環境の充実	48.20%
2	高齢者や障がい者などの自立した生活への支援	40.40%
3	安全・安心な地域社会の構築	21.40%
4	学校教育の充実・家庭や地域の教育力の向上	18.80%
5	健康づくりの推進と地域医療の充実	18.60%
6	災害に強いまちづくり	14.90%
7	道路環境の維持・除排雪	14.30%
8	活気ある商工業と観光の振興	14.10%
9	地域産業を担う人づくりと雇用環境の向上	13.50%
10	共に支えあう地域福祉の推進	10.60%

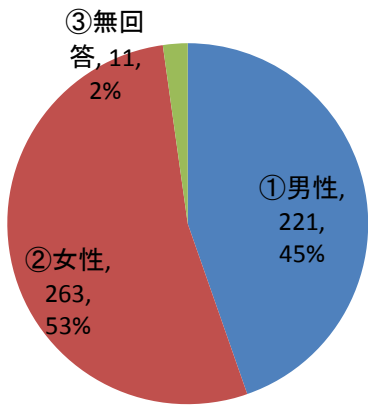
※第6回北上市の施策に関する市民意識調査（平成28年度）で今後優先的に実施していくべき施策として回答された方の割合。

2 北上市地域福祉に関するアンケート調査結果

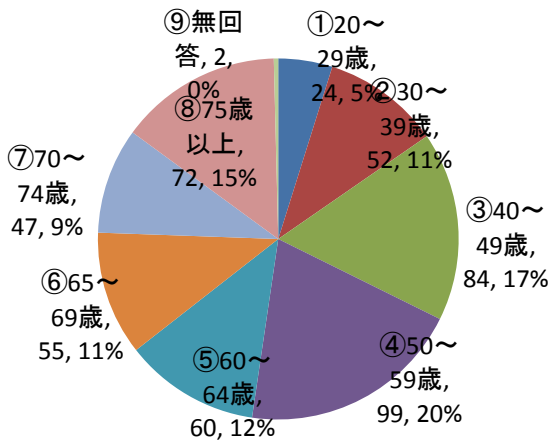
- 調査対象 市内に居住する満20歳以上の男女1,300名
- 抽出方法 住民基本台帳から無作為抽出
- 調査方法 郵送による配布・回収
- 調査期間 平成30年9月
- 回答状況 495名(回答率38.1%)

(1) あなたやご家族について

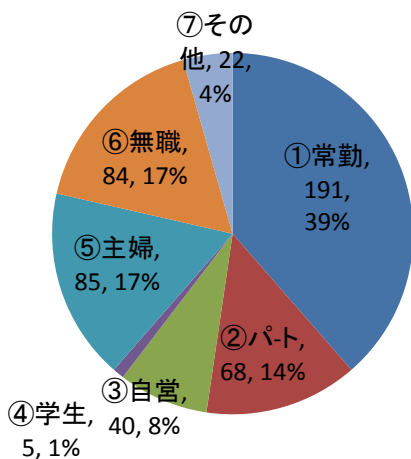
問1 あなたの性別を教えてください。【〇はひとつだけ】



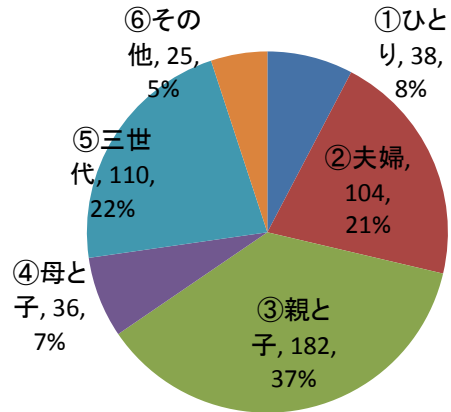
問2 あなたの年代を教えてください。【〇はひとつだけ】



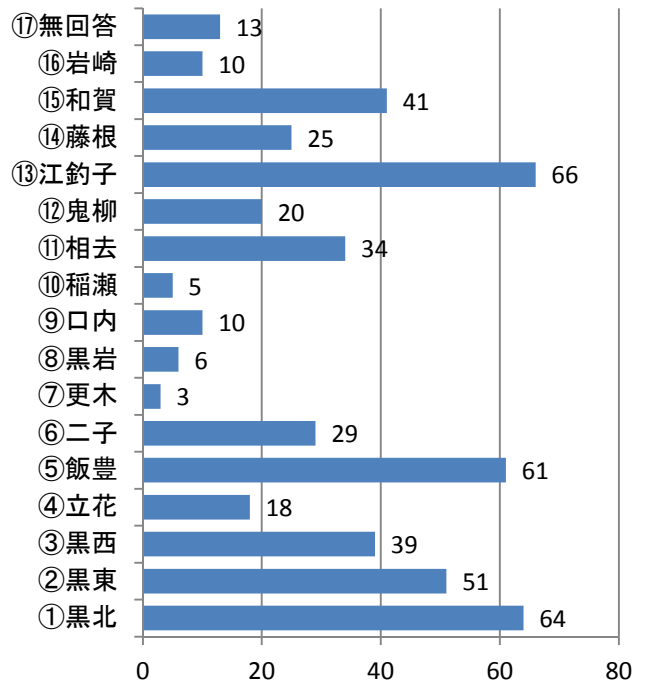
問3 あなたの職業を教えてください。【〇はひとつだけ】



問4 あなたの家族構成を教えてください。

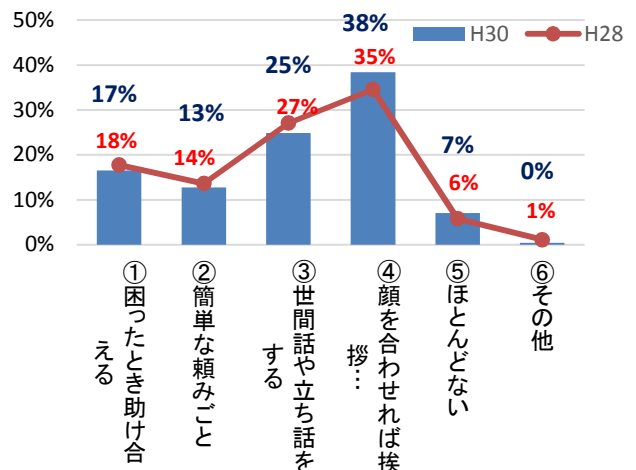


問5 あなたの住んでいる地区を教えてください。

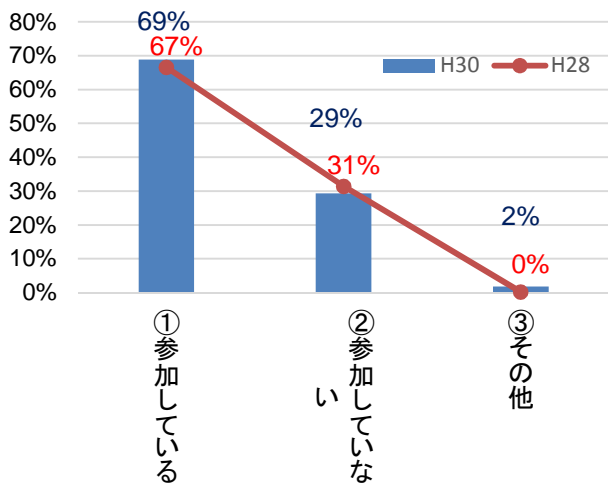


(2) 地域での支え合いについて

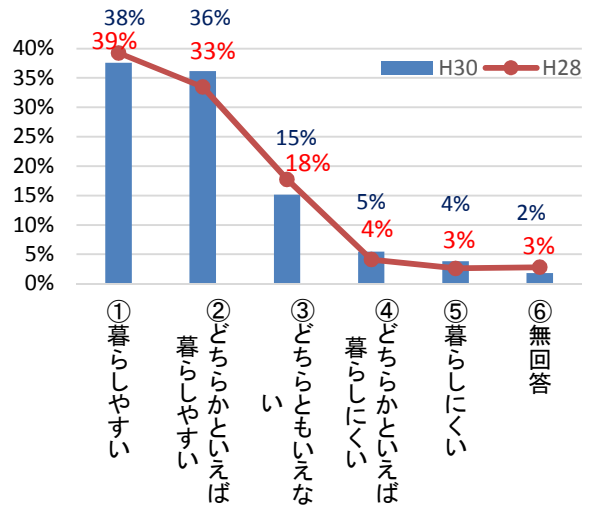
問6 あなたは日頃、ご近所との程度のお付き合いがありますか。【〇はひとつだけ】



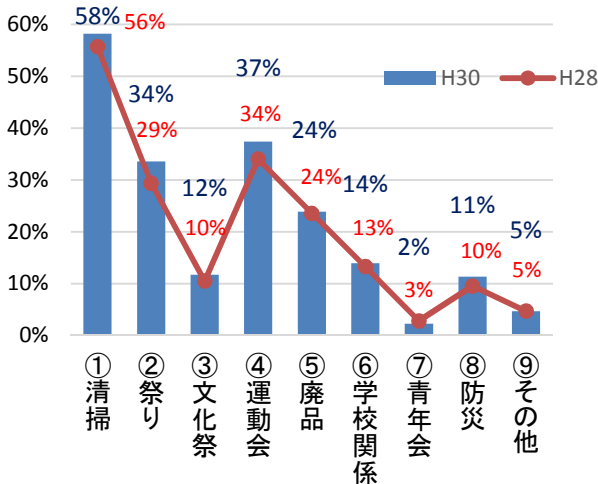
問7 あなたは、地域の活動に参加していますか
（又は、したことがありますか）。【〇はひとつだけ】



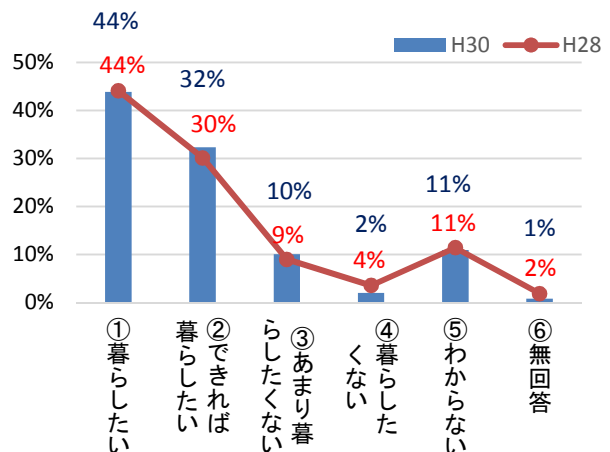
問10 お住まいの地域はあなたにとって暮らしやすいと思いますか。【〇はひとつだけ】



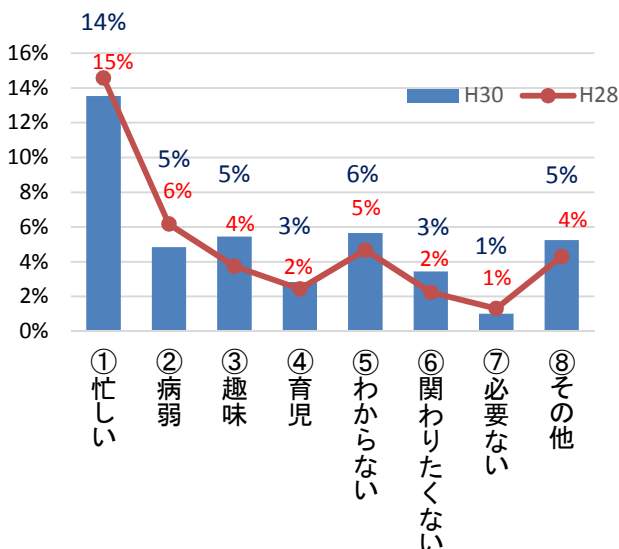
問8（問7で「①参加している」と回答した方）
どのような活動に参加していますか。【〇はいくつでも】



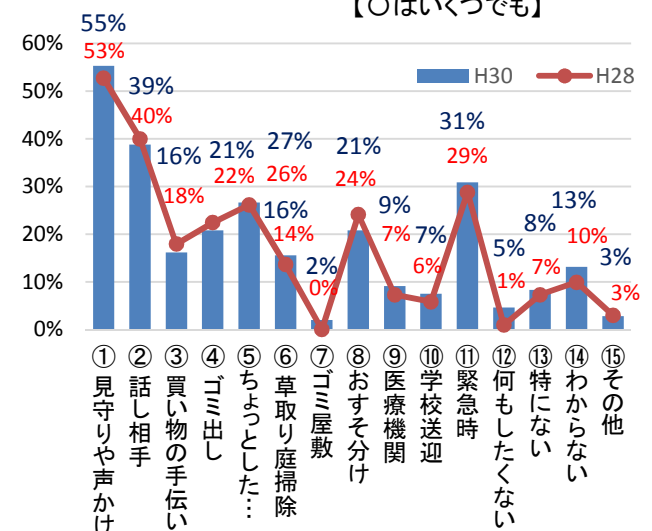
問11 現在あなたが住んでいる地域に、今後も暮らしていきたいと思いますか。【〇はひとつだけ】



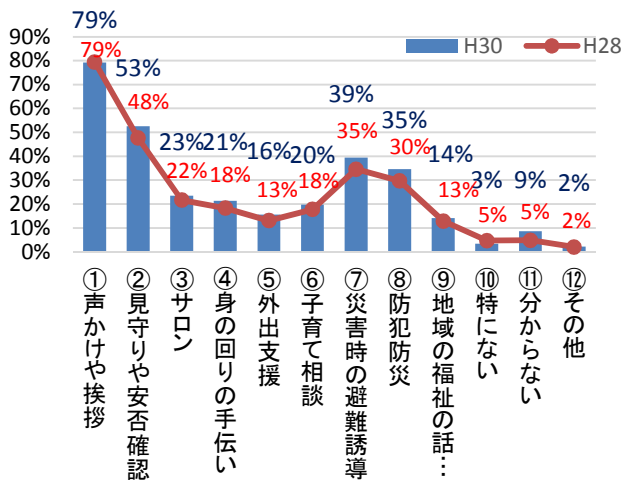
問9（問7で「②参加していない」と回答した方）
参加していない理由は何ですか。【あてはまるものにすべてに〇】



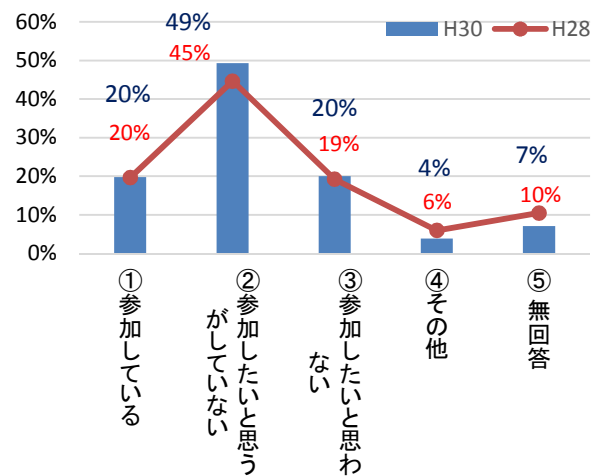
問12 あなたの身近に困っている方がいる場合、あなたにできることはありますか。【〇はいくつでも】



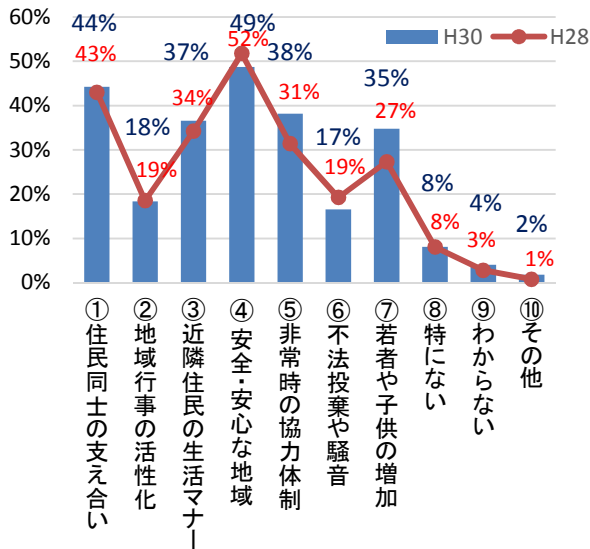
問13 住み慣れた地域で、みんなが安心して暮らすためには、どのような住民同士の支え合い活動が必要だと思われますか。【〇はいくつでも】



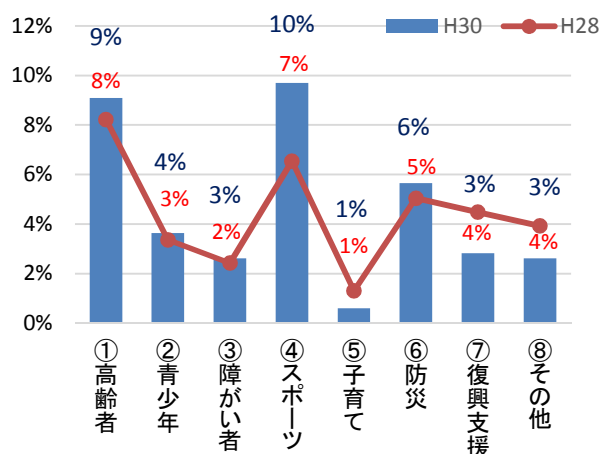
(3) ボランティア活動について
問16 あなたは、ボランティア活動に参加していますか。【〇はひとつだけ】



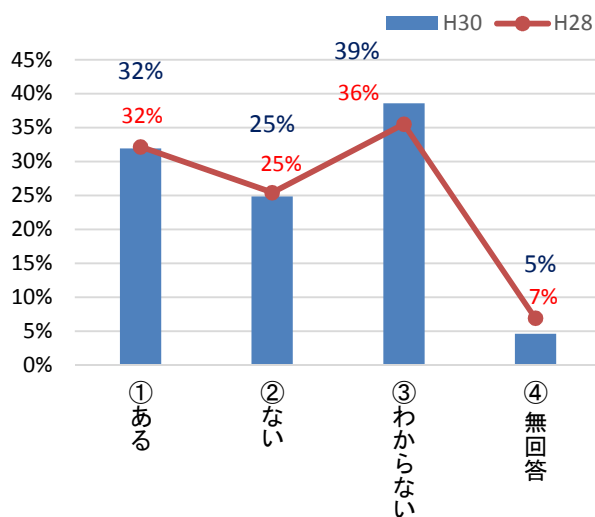
問14 あなたがお住まいの地域に期待することは何ですか。【〇はいくつでも】



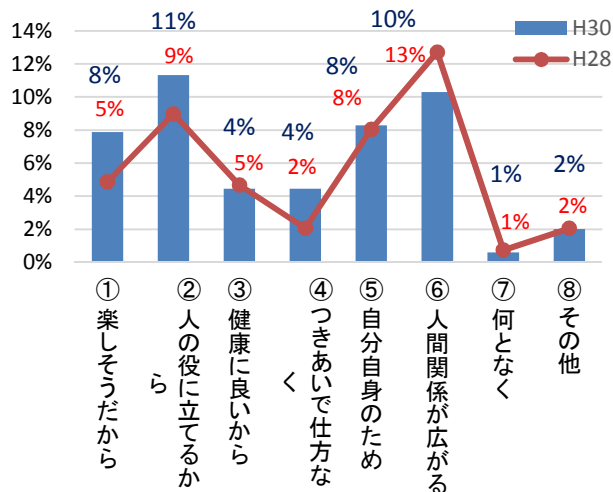
問17 (問16で「①参加している」と回答した方) どのような活動に参加していますか。【〇はいくつでも】



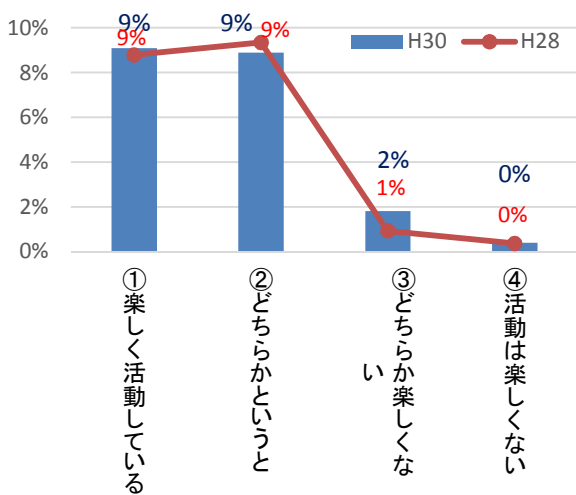
問15 あなたは、地域に支えられた(支えられている)と感じたことはありますか。【〇はひとつだけ】



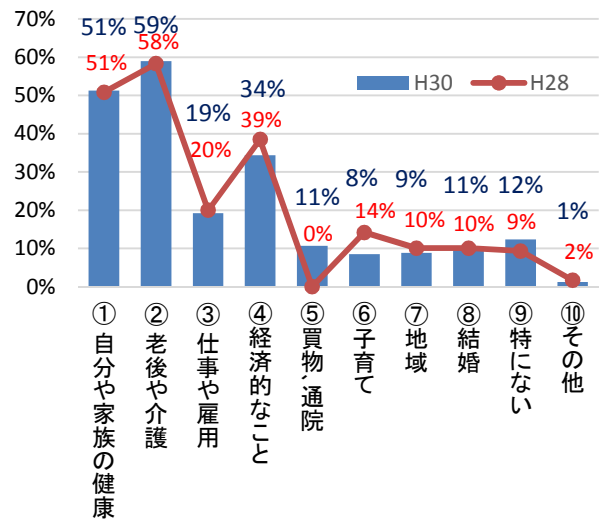
問18 (問16で「①参加している」と回答した方) あなたが活動に参加したのはどのような理由からですか。【〇はいくつでも】



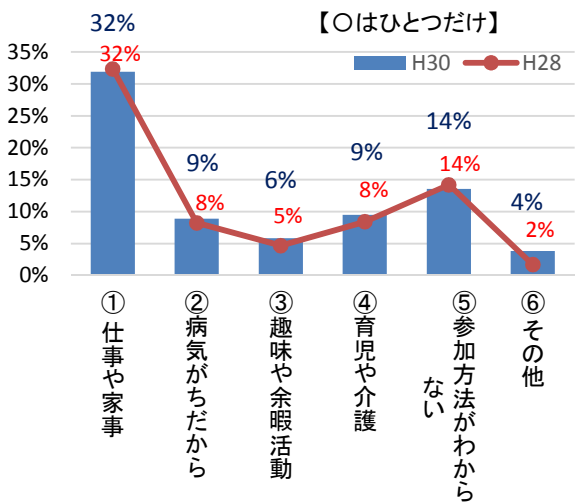
問19 (問16で「①参加している」と回答した方) 楽しく活動していますか。【〇はひとつだけ】



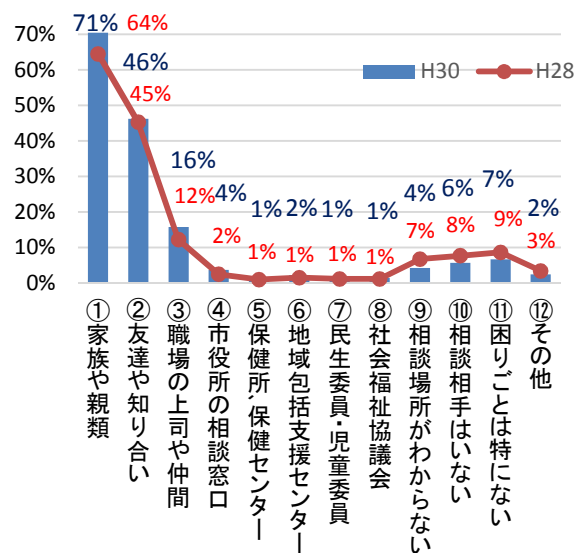
(4)暮らしの中の不安や相談について 問22 あなたは、毎日の暮らしの中で、不安に思っていることはありますか。【〇はいくつでも】



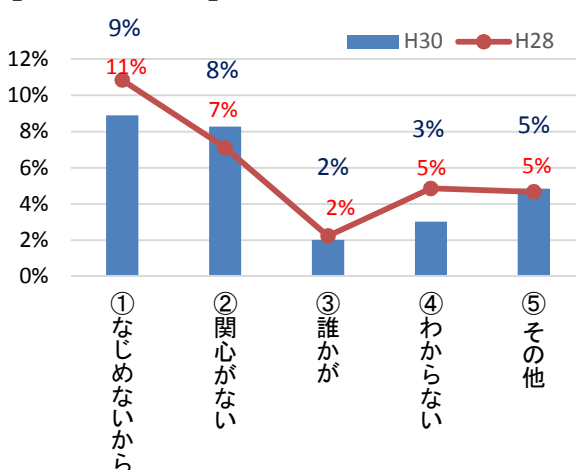
問20 (問16で「②参加したいと思うがしていない」と回答した方) 参加していない理由は何ですか。【〇はひとつだけ】



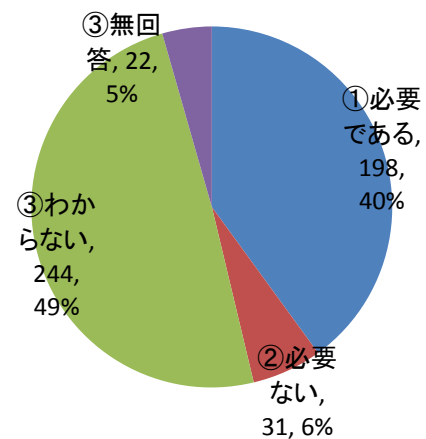
問23 あなたは、日常生活の困り事を、誰に(どこに)相談していますか。【〇はいくつでも】



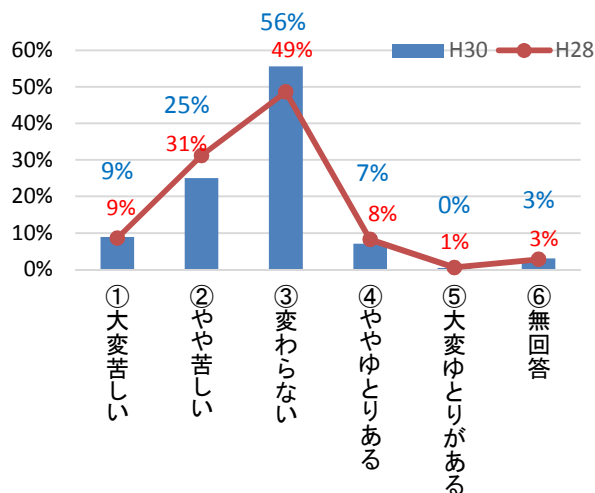
問21 (問16で「③参加したいと思わない」と回答した方) 参加したいと思わない理由は何ですか。【〇はいくつでも】



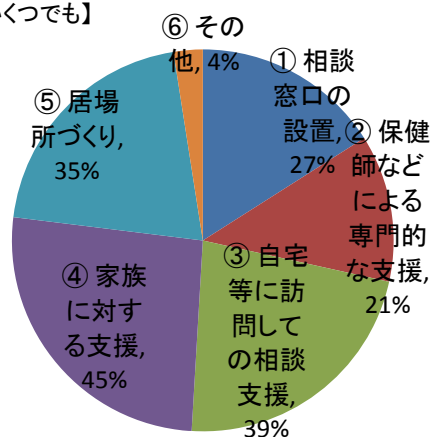
問24 交流センター等身近な場所に出向いての出張相談は必要だと思いますか。【新設した問】 【〇はひとつだけ】



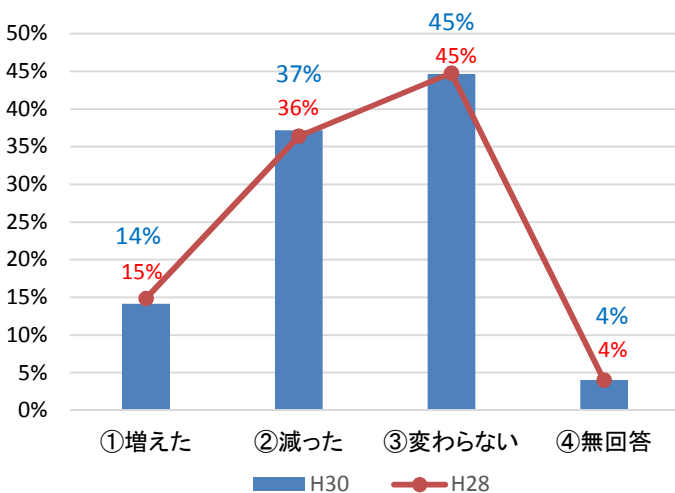
問25 あなたの生活状況は2年前と比較し、どのように変化しましたか。【〇はひとつだけ】



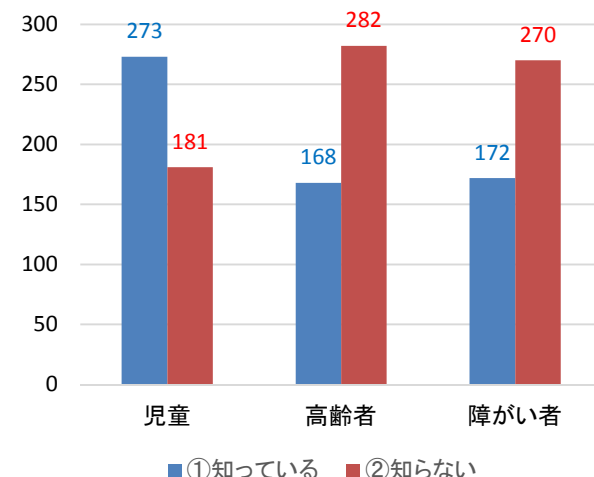
問28 ひきこもりの方への支援で必要だと思われることは何だと思えますか。【新設した問】
【〇はいくつでも】



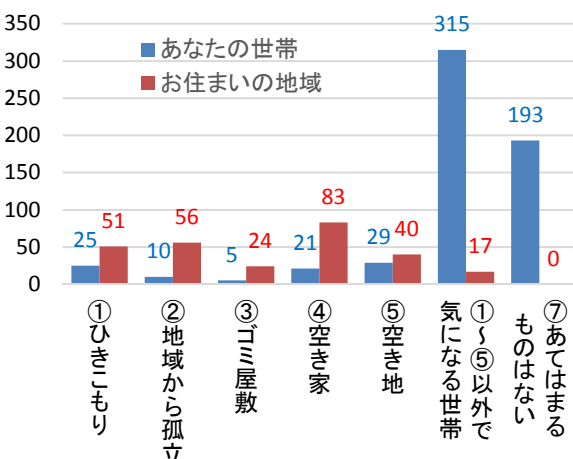
問26 あなたの世帯の所得は2年前と比較し、どのように変化しましたか。【〇はひとつだけ】



問29 虐待が疑われる世帯の話を知った場合に、どこに相談(通告・通報)したら良いか知っていますか。【新設した問】



問27 あなたの世帯やお住まいの地域の世帯であてはまると思うものはありますか。【〇はいくつでも】
⇒あなたの世帯、お住まいの地域

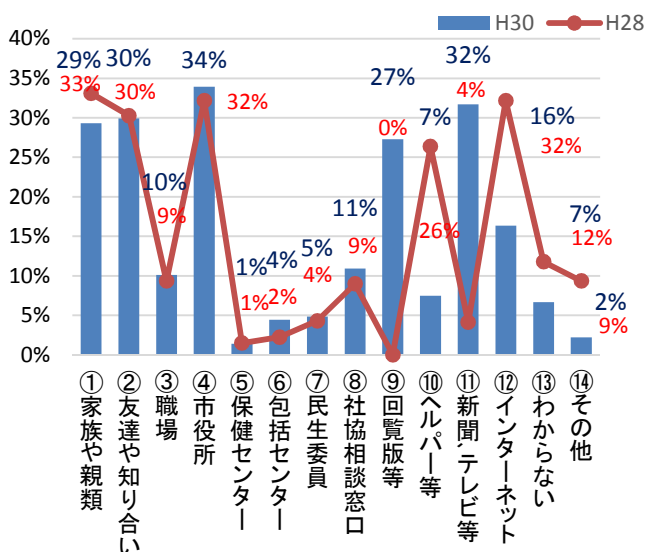


問30 あなたの暮らしている地域で、困ったことはありませんでしたか。また、困ったことがあった場合、スムーズに解決するにはどのような仕組み・方法があれば良いと思えますか。

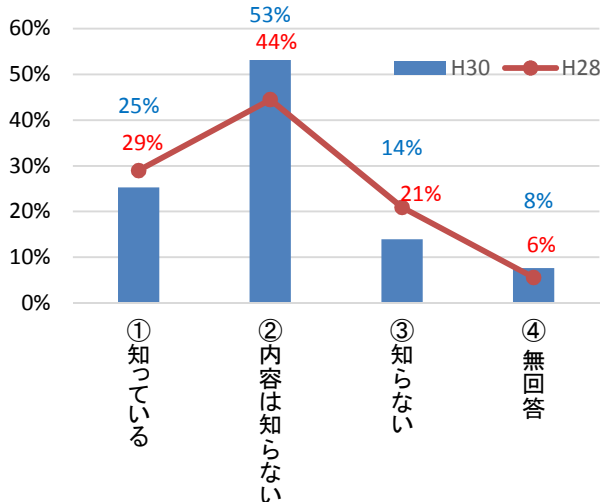
【主なもの】

- ・除雪、捨てる場所がない。(市で何とかしてほしい)
- ・街頭がなく、通学路など子供の帰宅が怖い。(〃)
- ・隣地の枝が伸びても切ってくれない。(直接本人に言えない)
- ・クマが出たしたら、どこに連絡し誰が助けてくれるのか
- ・北上市は障がい者施設が足りない。(増やしてほしい)
- ・北上市のホームページを充実してほしい。
- ・相談窓口が分からない。土日の開設、窓口を分かりやすく(見える場所に地図がほしい)
- ・児童虐待が多いことを知った。相談しても他人事だった。

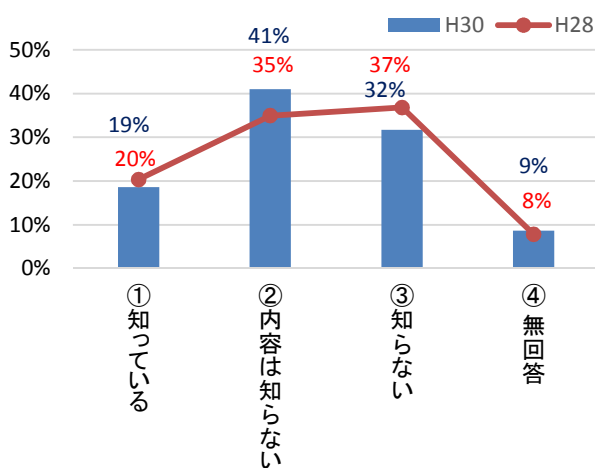
問31 あなたは、福祉についての情報や知識をどのようにして得ていますか。【〇はいくつでも】



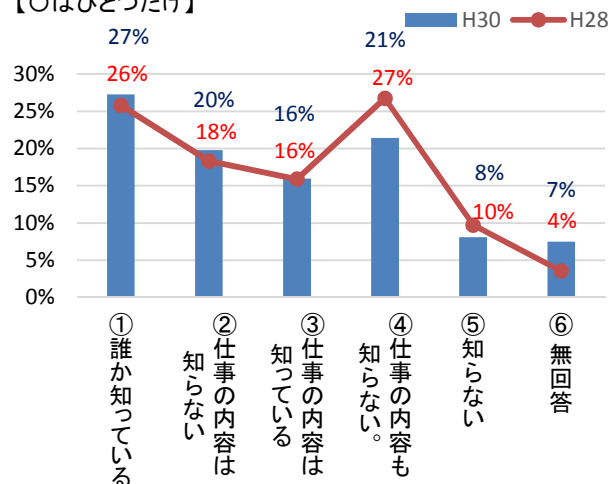
(5) 地域福祉に関わる事業や団体等について
問32 あなたはこれまで社会福祉協議会のことをご存じでしたか。【〇はひとつだけ】



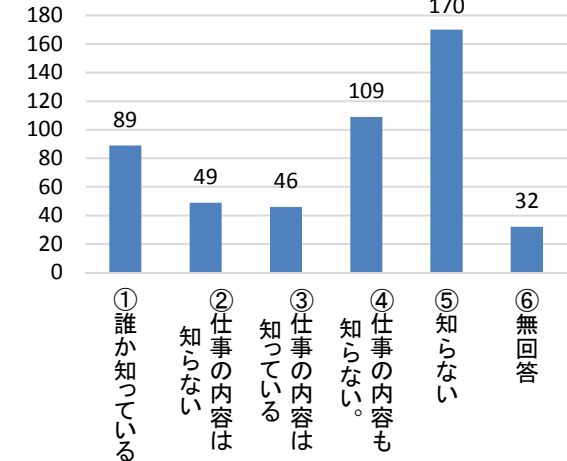
問33 あなたはこれまで社会福祉協議会支部のことをご存じでしたか。【〇はひとつだけ】



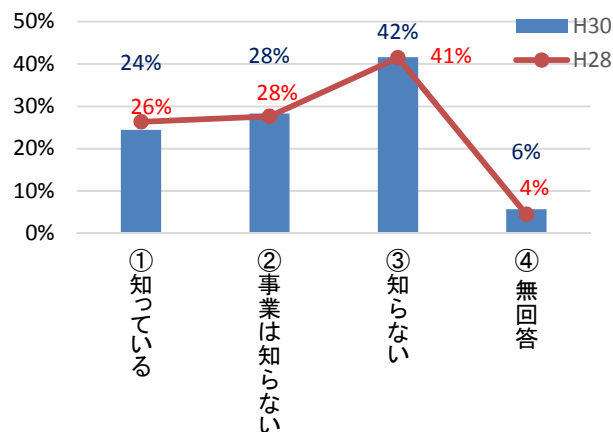
問34 あなたは全地区に配置されている民生委員・児童委員をこれまでご存じでしたか。【〇はひとつだけ】



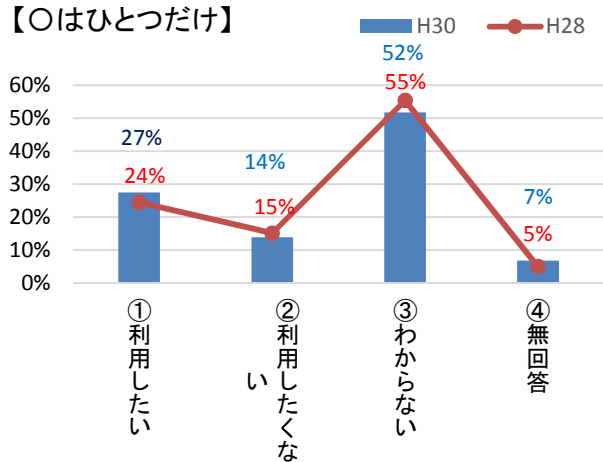
問35 あなたはこれまで行政区に配置されている福祉協力員のことをご存知でしたか。【新設した問、〇はひとつだけ】



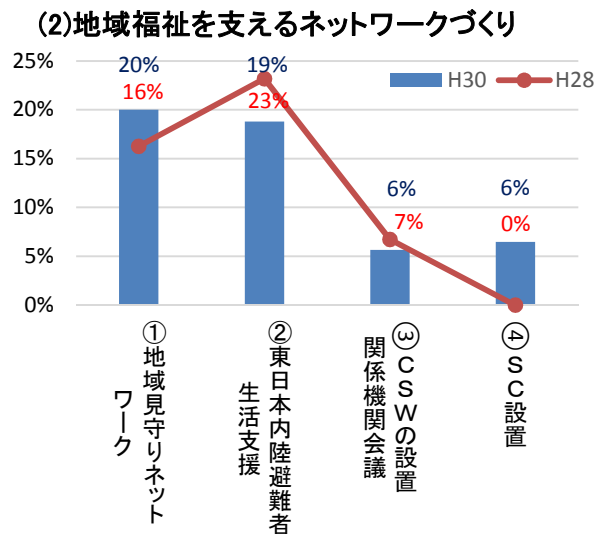
問36 あなたは、判断能力が不十分な高齢者や障がい者の通帳預かり等をする「地域福祉権利擁護事業(日常生活自立支援事業)」や、財産管理などを行う「成年後見制度」をご存じですか。【〇はひとつだけ】



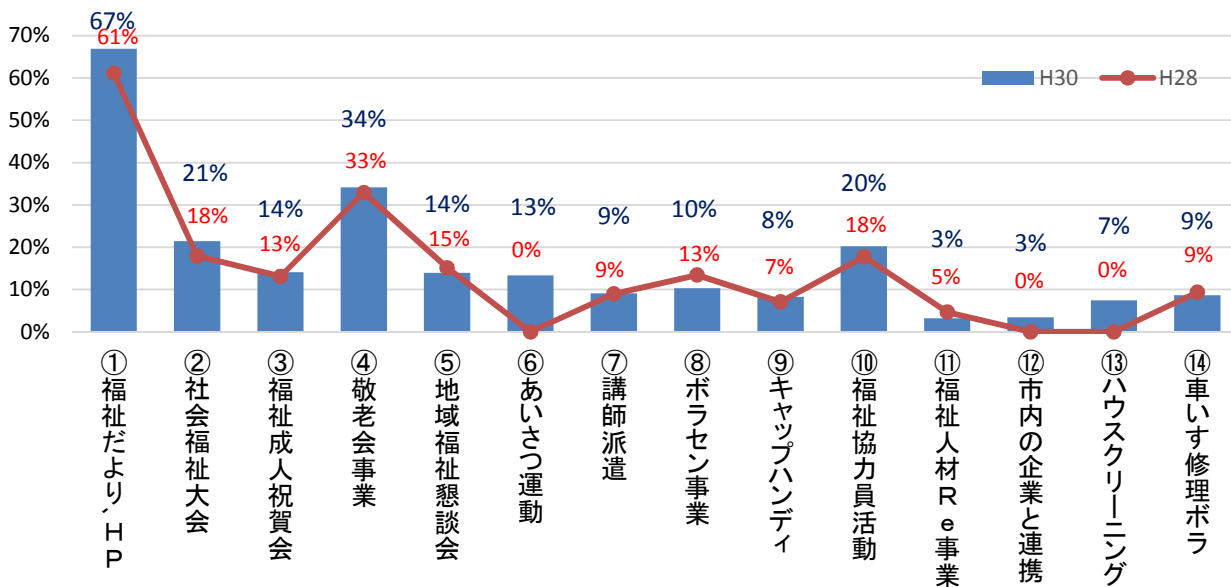
問37 今後あなたが、判断能力が不十分になった場合、問32にある事業・サービスを利用したいと思いますか。【○はひとつだけ】



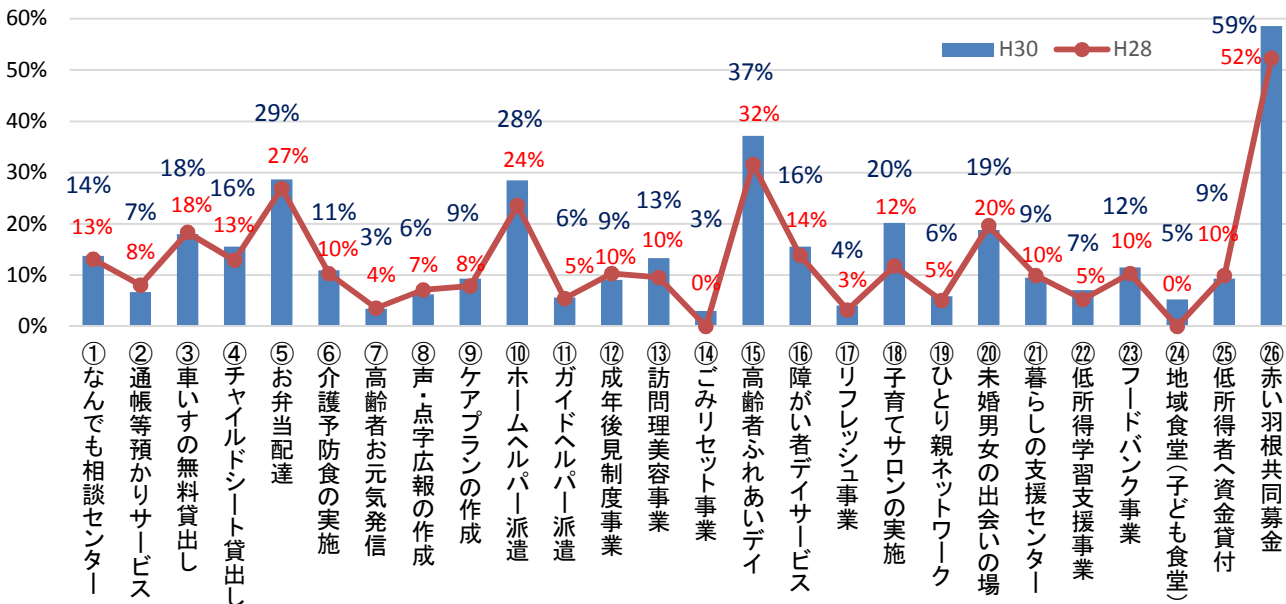
問38 社会福祉協議会が行っている事業の中で、ご存じのものがありますか。【知っている項目に○】



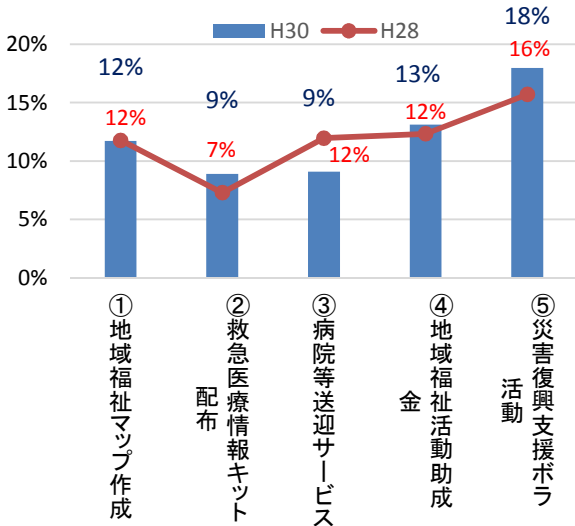
(1)地域福祉を担う人づくり【知っている項目に○】



(3)充実した福祉サービスの仕組みづくり【知っている項目に○】

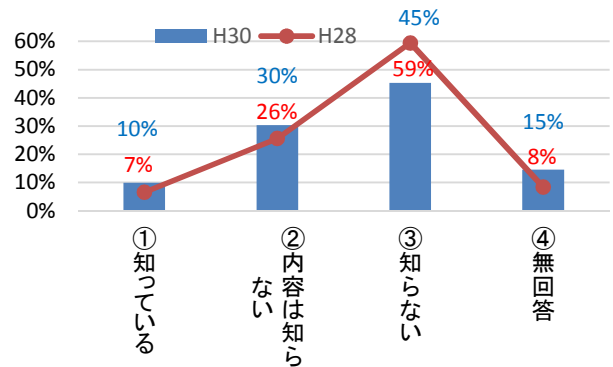


(4) 暮らしやすい地域環境づくり【知っている項目に○】



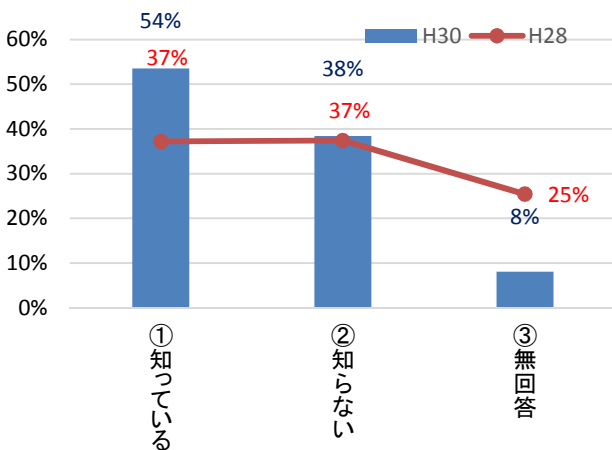
(7) 災害弱者について

問41 あなたは災害に備え、日頃から災害弱者を支援しようとする取組「避難行動要支援者避難支援制度」があることをご存知ですか。【○はひとつだけ】

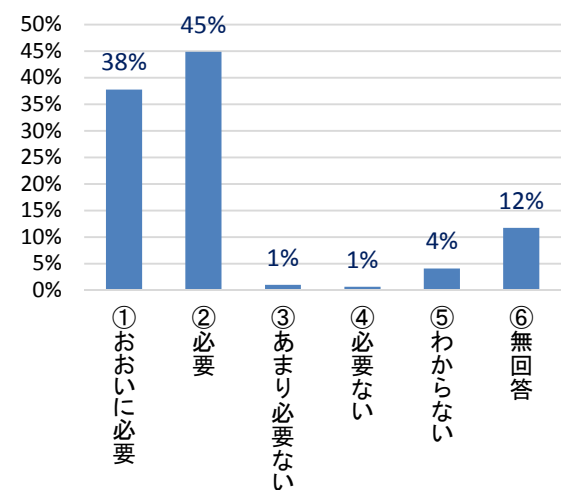


(6) 福祉教育について

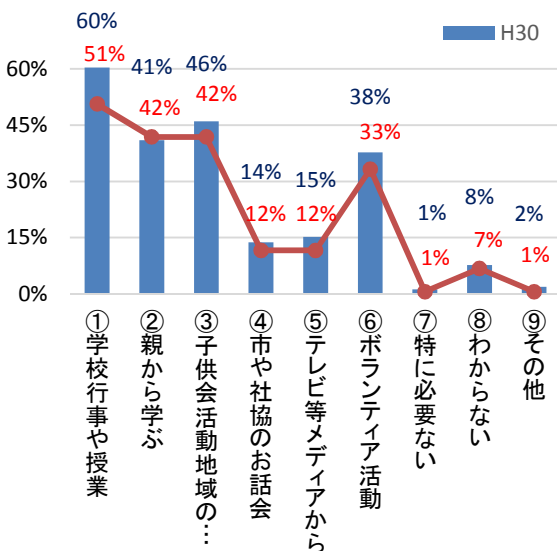
問39 あなたは、小学生や中学生が、地域で行っているボランティア活動(高齢者宅の掃除、除雪活動など)をご存じですか。【○はひとつだけ】



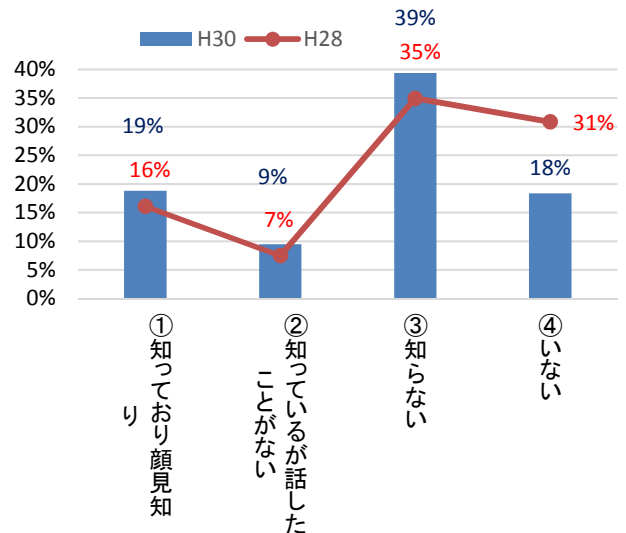
問42 あなたは、災害時に「地域住民が支え合う仕組み」は必要だと思いますか。【新設した問】【○はひとつだけ】



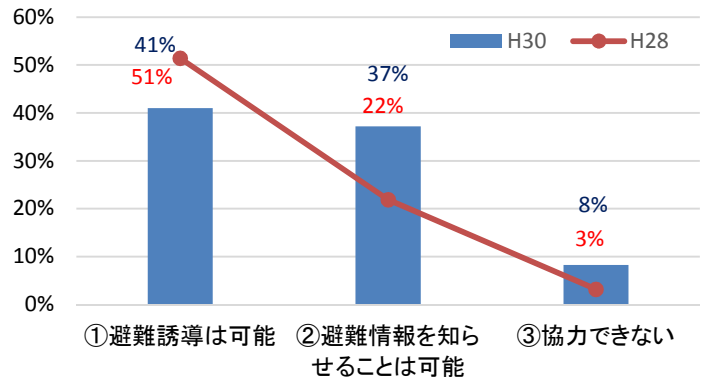
問40 子どもたちに対する福祉教育について、どのような取り組みが大切だと思いますか。【○はいくつでも】



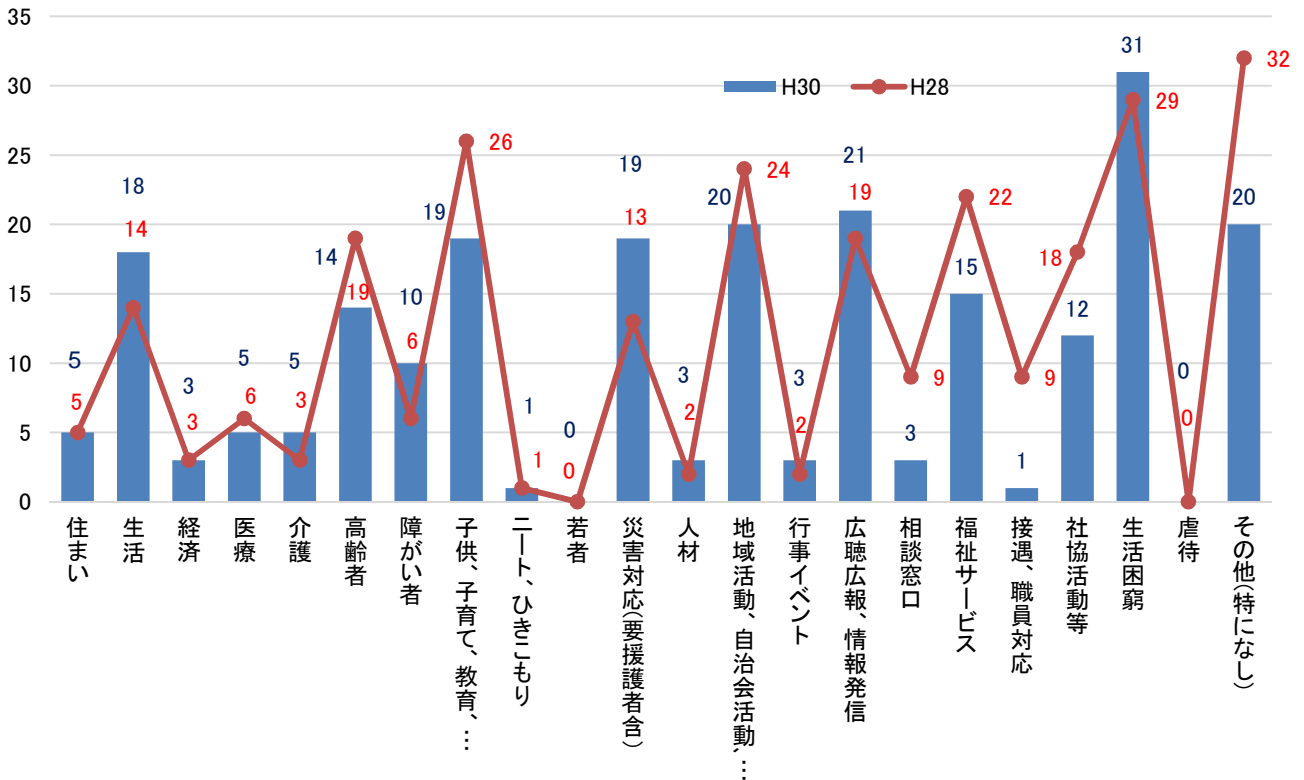
問43 あなたのご近所に、災害弱者(対象と思われる方)がいますか。【○はひとつだけ】



問44 あなたは災害時に、自分や家族の安全確保ができた状態において、ご近所の災害弱者に対し、どのような支援が可能ですか。
【〇はひとつだけ】



問45 誰もが地域で安心して暮らせる北上市にしていきたいために、今後、北上市や北上市社会福祉協議会に期待すること、また、充実して欲しい制度や事業などは何ですか。どんなことでも結構ですので、ご自由にご記入ください。



3 地域福祉懇談会（主な意見・要望）

(1) 平成 30 年度地域福祉懇談会開催一覧

No.	期日	時間	地区	場所	参加者数 (人)
1	7月2日(月)	10:00～ 11:35	黒沢尻北	黒沢尻北地区交流センター	50
2	7月2日(月)	13:30～ 15:00	黒沢尻東	黒沢尻東地区交流センター	50
3	7月3日(火)	10:00～ 11:30	黒岩	黒岩地区交流センター	20
4	7月4日(水)	10:00～ 11:30	鬼柳	鬼柳地区交流センター	37
5	7月5日(木)	13:30～ 15:00	和賀	和賀町総合福祉センター	80
6	7月6日(金)	10:00～ 11:25	相去	相去地区交流センター	57
7	7月9日(月)	10:00～ 11:25	口内	口内地区交流センター	24
8	7月9日(月)	13:30～ 15:00	稲瀬	稲瀬地区交流センター	16
9	7月10日(火)	10:00～ 11:35	二子	二子地区交流センター	32
10	7月10日(火)	13:30～ 15:00	更木	更木地区交流センター	22
11	7月11日(水)	10:00～ 11:30	江釣子	江釣子老人福祉センター	60
12	7月11日(水)	13:30～ 15:30	黒沢尻西	黒沢尻西地区交流センター	43
13	7月18日(水)	13:30～ 15:00	飯豊	飯豊地区交流センター	58
14	7月19日(木)	13:30～ 15:00	立花	立花地区交流センター	33
15	7月27日(金)	13:30～ 14:55	和賀	和賀町総合福祉センター	52
合 計					634

(2) 主な意見・要望 ※口語のまま掲載

①相談窓口のあり方について

地区名	意見・要望
黒沢尻北	<ul style="list-style-type: none"> ・病院で受けた相談から社協へつないだ経験があり、窓口はいろいろな場所へ数多く設置するべきだと思う。
黒沢尻東	<ul style="list-style-type: none"> ・改まった相談窓口は入りにくいこともあるため、地域で気軽に相談できる場所や顔なじみで相談できる人がいれば良い。
黒沢尻西	<ul style="list-style-type: none"> ・「窓口のあり方」と言っても現状が分からなければ聞き方もわからない。 ・北上市でも虐待事件があったが市の対応に問題があったと思う。工場の誘致によりこれから多くの子育て世代が転入してくると思うので、窓口を充実させ職員がしっかり対応できる体制を整えて欲しい。
立 花	<ul style="list-style-type: none"> ・周囲が一生懸命動いても当事者が相談に行かないと解決に結びつかない。コミュニティソーシャルワーカーとはどういうものか。アウトリーチをしなければならぬのではないかと。個人情報や壁などで介入しにくいところに積極的に活動して欲しい。 ・不登校の例では、日中ではなく夜間に活動することがあるので、夜間に相談する場があるとよいと思う。 ・窓口で相談に対応するのは何らかの資格を持った方なのか。相談窓口への交通手段が無い方には、社協の支部でも対応するとよいのではないかと。
飯 豊	<ul style="list-style-type: none"> ・総合相談窓口を設置するとなっているが、窓口を開いたから来るようにということではなく、交流センター等に出向いて相談窓口を開く仕組みにして欲しい。 ・ひきこもりの相談に行っても他の窓口を案内される、本人がいないと受付できないということがあった。相談する人はそれまで大変な思いをしているし、ひきこもりの当事者を窓口へ連れて行くのは難しいので自宅に出向いての相談や生活状況の確認をして欲しい。窓口が身近に感じられるようになって欲しい。 ・相談窓口を担当する職員同士の会議や連携はあるのか。 ・相談窓口を必要とする人のため、広報で特集して欲しい。 ・子育てをしている親は精神的に悩むこともあると思う。身近な地域に子育て世代包括支援センターが出来ると相談に行きやすいと思う。
二 子	<ul style="list-style-type: none"> ・病気で体が不自由な方のリハビリをどこに相談してよいかわからない。 ・様々な相談機関があるというが、市や社協への連絡は敷居が高く相談しにくい。地区交流センターなど相談しやすい環境づくりが必要だと思う。
更 木	<ul style="list-style-type: none"> ・相談窓口が多数あるのはわかるが、本当に相談したい人は情報を知っているのか。元気で問題が無いときは相談等の窓口は知らずにいるため、市民に繰り返し伝えることが必要ではないか。 ・例えばバス乗車券のことを知らない人がいるが、そのようなことが無いようにきちんと伝えることが必要だと思う。

黒 岩	<ul style="list-style-type: none"> ・自分に何かあってからでないと、どこに相談してよいかわからない。 ・社協のコミュニティソーシャルワーカーのような福祉相談の専門職は、市に何名配置されているか。異動があるので相談専門職が必要ではないか。
口 内	<ul style="list-style-type: none"> ・「窓口のあり方」と言われてもわからない。「この相談窓口を知っているか」と聞かれるとわかりやすい。住民の困りごとは民生委員・児童委員や行政区長に相談するものだと思っている。 ・地域包括支援センターを知らない人も多いのもっと広報して欲しい。 ・ゴミの出し方のように、相談窓口についてまとめた冊子を作製したほうがよいのではないか。 ・社協のトータルガイドブックを区長にも配布してはどうか。
稲 瀬	<ul style="list-style-type: none"> ・「組織間の壁を超えた柔軟かつ横断的な支援体制の整備」は今後の計画策定において具体的にどうしていくのか。 ・相談に行った際に、色々な相談窓口を歩かなければならないので、なるべく負担の無いようにして欲しい。 ・コミュニティソーシャルワーカー、生活支援コーディネーターの具体的な配置の構想を聞きたい。 ・地域に出向くとは定期的なのか、その都度行うものなのか。
相 去	<ul style="list-style-type: none"> ・若い人は社協の存在を知らないのではないか。市の福祉課が総合窓口となって相談機関を一体化したほうが良いと思う。
鬼 柳	<ul style="list-style-type: none"> ・しばらく間を置いて窓口に行った際、ゼロからの申請になってしまった。一度申請した場合はある程度の情報を把握しているはずなので、スムーズな対応をお願いする。 ・ひきこもり支援の体制強化を望む。当事者も親も高齢化していく。一度相談があったケースは切れ目なく経過を見ていく体制を取って欲しい。 ・悩みを抱えている人が、市の窓口に行っても話を聞いてもらえなかったということがあったようだ。担当外の内容でもまず話を聞き、そのうえで担当部署へ繋いであげべきだと思う。 ・市役所は遠く気軽には行けない。身近に相談する場所があることをもっとPRすべきだと思う。地域でなんでも相談できる日を作る、一人暮らし高齢者に声かけ運動をするなど、相談しやすい仕組みづくりが必要ではないか。
江 釣 子	<ul style="list-style-type: none"> ・市役所など改まった雰囲気のある場所には相談に行きにくい。フロアの造りなど気軽に相談できる場を工夫して欲しい。
和 賀	<ul style="list-style-type: none"> ・なんでも相談窓口への相談人数と相談内容を教えて欲しい。

②見えにくい生活課題を抱える世帯への支援について

地区名	意見・要望
黒沢尻北	<ul style="list-style-type: none"> ・民生委員・児童委員にはさまざまな情報が提供されるが住民へはどのように伝え住民はどのように行動すればよいか。 ・地域の問題を把握しても共有には個人情報の保護がネックとなることがある。問題解決のためには個人情報をもっとオープンにする仕組みも必要ではないか。 ・引きこもりの方の把握は困難であるため、予備軍の方への対応も大切だと思う。
黒沢尻東	<ul style="list-style-type: none"> ・虐待などの表面化しない家庭内の問題には地域住民は入り込みにくく、民生委員・児童委員や福祉協力員のなり手不足にもつながっている。役割や活動範囲を明確にしてほしい。 ・北上市内で起きた虐待事件では職員は数回の訪問で切り上げていたようだ。「会えなかった」「いなかった」で終わりにするのではなく、粘り強くかつ優しく相手に接触していく必要があると思う。
黒沢尻西	<ul style="list-style-type: none"> ・民生委員・児童委員としてひきこもりの方を把握しても、訪問して家庭に介入することは難しい。 ・地域にごみが散乱する家や荒れた空き家があるが、どのように対応すればよいか。
飯 豊	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者や障がい者の交通手段の確保、通院や手続きの付添や援助が必要である。制度の隙間を埋めるような解決策はないか。 ・コミュニティソーシャルワーカーと生活支援コーディネーターの違いを教えて欲しい。コミュニティソーシャルワーカーの実態はどうなっているのか。
二 子	<ul style="list-style-type: none"> ・避難行動要支援者名簿は有事の際に使うと思うが、多くの個人情報が掲載されておりどのように活用するか悩んでいる。
更 木	<ul style="list-style-type: none"> ・地区の高齢化率が高く、支援される側になる人が多くなる。研修や教育など5年の計画の中で取組みを進めて欲しい。
黒 岩	<ul style="list-style-type: none"> ・生活課題として、買い物に行けないなど交通手段の話題が挙がった。外出できるような環境づくりとしてコミュニティバスを活用したい。 ・コミュニティバスの路線を変更してほしい。利用者の状況に応じてタイムリーに路線を変更できるような便利なあり方にならないか。
口 内	<ul style="list-style-type: none"> ・ひきこもりの実態はどうなっているのか。 ・心配な人はいるが、困っている人はなかなか声を上げてくれない。その場合はどこに相談すればよいか。個人情報を優先したほうがよいか。 ・他者とのかわりを拒否する住民がおり心配して市に相談したことがあったが、変わった様子は見られない。地域には対応の連絡や、取組みへの助言なども無かった。
稲 瀬	<ul style="list-style-type: none"> ・空き家の草が伸びているのはどこに相談すればよいか。
相 去	<ul style="list-style-type: none"> ・支援が必要な世帯だったと思われる市内の児童虐待の事件について市や社協はどのように連携していたのか。関係機関のネットワークが構築されていればこのような結果には繋がらなかったと思われる。見えにくい生活課題について地域に質

	<p>問するよりも、具体的な対応策を地域に示して協力を促す方がいいと思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ひきこもり世帯の情報を地域に伝達する方法が明確になっていないのではないか。地域福祉計画には具体例の記載が無く、社協に丸投げしている感じがする。
鬼 柳	<ul style="list-style-type: none"> ・避難行動要支援者同意者に対し支援者が半分もいないのは、他人に関心が無いという住民が多いということか。
和 賀	<ul style="list-style-type: none"> ・買い物やゴミ出し等の支援を地域で独自に行っているが、市に届け出は必要か。 ・地域福祉活動計画の重点事項④地域福祉と地域づくりの一体化については、特に計画に反映して欲しい。また、福祉教育を推進し市民の福祉意識を醸成するとあるが、そのための具体的な方法を教えて欲しい。 ・地域福祉活動計画の重点事項⑥に災害時等における円滑な避難支援体制づくりとあるが、有事の際にどのように支援をすればいいか悩んでいる。

③人材の確保や育成について

地区名	意見・要望
黒沢尻北	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア講座の受講者など人材を地域に還元できていないのではないか。受講者にはぜひ地域に貢献するように伝えてほしい。
黒沢尻東	<ul style="list-style-type: none"> ・退職者といってもまだ仕事をしたい方も多く、すぐ福祉分野にというわけにはいかない。「人材育成」というが、1人を育てるのではなく地域で共有し、みんなで成長することが大切ではないか。 ・団塊の世代が高齢化し、様々な課題が生じると思うが対策はどうなっているか。
黒沢尻西	<ul style="list-style-type: none"> ・地区ではハウスクリーニングを実施しているが、他の地区の取組状況はどうか。また、今後拡充する予定はあるか。 ・他の地区ではミニミニ運動会を開催しているか。
立 花	<ul style="list-style-type: none"> ・人材育成・確保とは、介護現場での人材という意味か、社協の活動に対する人材という意味か。 ・避難行動要支援者に対応する地域の組織はできているのか。 ・以前は個人情報関係で教えられないといわれていた。地域の自主防災組織と連携しないと助けられないが、どうやって対応するつもりなのか。 ・避難先の確保など、かなり緻密に取り組まなければならないと思う。隣近所との繋がりは簡単なようで難しい問題である。
飯 豊	<ul style="list-style-type: none"> ・民生委員・児童委員や福祉協力員が頑張っても、全ての人には目が行き届かない。福祉に限らず地域社会全体を考えた地域づくりが課題である。声は上がるものの、その網にかからない人も多いのではないかと思う。地域社会づくりについてどうしたらよいか聞きたい。
更 木	<ul style="list-style-type: none"> ・避難行動要支援者で情報提供に同意しない方の理由は何か。大規模な災害が起こったらどうなるのか。見守りネットの対象になっていない方にはどのような対応を取るのか。

黒 岩	<ul style="list-style-type: none"> ・市職員はボランティア活動に参加しているのか。 ・国では「定年後も元気な人は働いて」と言っているが、子どもの少ない当地区では、働く人が増加すると土日にボランティア活動や地域活動ができない。何か良い事例はあるか。
口 内	<ul style="list-style-type: none"> ・介護保険料を徴収している以上は、行政が保険料の中で対応すべきではないか。地域では人材が不足しており、負担が大きいと感じている。 ・市内の高校生に対してもボランティア活動を進めてほしい。
稲 瀬	<ul style="list-style-type: none"> ・「稲瀬ボランティアの会」を立ち上げたが、活動の具体的な動き方などを社協のボランティア養成講座で教えて欲しい。 ・認知症サポーターの人数は不足しているのか。 ・在宅医療を支える資源が不足しているとあるが、不足しているのは金銭なのか人なのか。 ・「ボランティア発見講座」とあるが、資格にこだわると担い手がなくなってしまったため、地域住民が担い手になれるようなあり方にすべきではないか。
相 去	<ul style="list-style-type: none"> ・地域福祉を担う人材とあるが、ボランティアで活動することになるのか。
鬼 柳	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉協力員のなり手がなかなか見つからない。福祉は幅が広く負担も大きくなっておりボランティア精神だけでは頼みにくい。報酬などは出ないのか。 ・民生委員・児童委員の活動は仕事をしながらでは難しくさらになり手がいない。 ・区長自身も民生委員・児童委員の活動内容を知らないまま推薦をしている。
江 釣 子	<ul style="list-style-type: none"> ・シェアリングエコノミーを活用して地域課題の解決を図る自治体を支援する事業が総務省にはあるが、計画にはこうした国の動きを盛り込んでいるのか。

④地域福祉計画・地域福祉活動計画について

地区名	意見・要望
黒沢尻北	<ul style="list-style-type: none"> ・ふれあいデイサービスの参加者の足の確保を考えてほしい。 ・ふれあいデイサービスの参加者は固定化しているが、会場の関係もあり参加者を増やすのは難しい。
黒沢尻東	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者にとっては学校を卒業したばかりの若者よりも、近い年代の方が心を開ける場合も多いと思う。退職した後でもやる気次第で資格を取得するのは可能であり、意欲のある退職世代を応援するサポート体制が必要だと思う。 ・地域福祉懇談会には高齢福祉や障がい福祉の分野の方が多いが、福祉は年齢や分野別にできるものではなく、若い世代や子育て世代も意見を述べたり情報を共有したりできる場であればよい。 ・民生委員・児童委員や福祉協力員、老人クラブのメンバーは子育て世代と話す機会が無いので、そのような場があればよい。また、若い世代向けの福祉についての勉強会を開くなど考える機会を作ったほうがよい。
黒沢尻西	<ul style="list-style-type: none"> ・計画案を見たが、北上市らしさが感じられない。資料を見るとどこの自治体でも

	<p>通じることばかりに思える福祉という言葉は幸福という意味であり、現に困っている人だけでなく、今は困っていても不安を抱えている人への対応も盛り込んで欲しい。</p>
立 花	<ul style="list-style-type: none"> ・社協の事業では、限りある予算の中で、赤ちゃんから高齢者まで命を最優先に守る、暮らしに関わる事業に取り組んで欲しい。 ・福祉教育実践活動の主旨についてどう考えているのか。 ・「教育」や「学習」という言葉は、子どもに対しては問題ないが大人には使わない方がよいのではないか。 ・計画の進捗や見直しは、どういう形で知ることができるのか。
飯 豊	<ul style="list-style-type: none"> ・地域福祉計画と地域福祉活動計画の違いがわかりにくい。
二 子	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども食堂や学習支援事業にとっても興味がある。高齢者の支援は手厚く感じるが、子どもに関することが少ない気がするので、計画にもっと盛り込んで欲しい。 ・子ども食堂の内容やボランティアの選定について教えて欲しい。
更 木	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティバスのバス停までの足の確保が課題である。 ・サロン活動はどの地区でどのくらい開設されているのか。 ・ふれデイ等で高齢者の集まる公民館等にもAEDを設置して欲しいが、維持費もかかることから、設置済みの小学校や交流センターから持ち出して使用することは可能か。いつでも使える状態を希望している。
黒 岩	<ul style="list-style-type: none"> ・健康な高齢者が多くなり、医療費等の抑制のためにも「スマートウェルネスシティ」に参加したほうがよいと思う。他市町村では市民の運動参加や減塩による病気予防に取り組んでいる。みんなが参加してアドバイザーがたくさん増えるようになって欲しい。
口 内	<ul style="list-style-type: none"> ・説明の中に横文字の言葉が多くわかりにくい。 ・ふれあいデイサービスについて、改善点が無いまま重点事項として取り上げるのはどうなのか。
稲 瀬	<ul style="list-style-type: none"> ・両計画が玉虫色にならないよう、数値だけでなく現実味のあるものにして欲しい。
相 去	<ul style="list-style-type: none"> ・資料には地域福祉計画とは「地域住民」「社会福祉関係者」が相互に協力するとあるが「行政」が入っていないので入れるべきである。 ・協力や連携等の文言が入っているが、誰がどこに何を願うのかを明確にしてほしい。人材確保は地域住民だけでは難しいので、さらに検討して欲しい。 ・資料に横文字が多すぎるので、日本語に直せるものは日本語で記載して欲しい。法律の内容に説明書きがあるとよい。地域に福祉活動をお願いするなら、ここまでは頼むという基準があればわかりやすい。 ・市では個人情報伝達する基準があるのか。

⑤北上市全般の福祉課題について

地区名	意見・要望
黒沢尻北	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な取り組みがあるが、スマートフォンやインターネットで検索ができる情報提供をしているのか。
二子	<ul style="list-style-type: none"> ・こんにちは赤ちゃん訪問事業で聞いた親の要望を市に提出しているが、担当課に伝わっているのか。 ・こんにちは赤ちゃん訪問事業で、民生委員・児童委員が訪問できなかった世帯のフォローはどうなっているか。 ・医療機関の受診を拒否する方への対応をどうすればよいか。
更木	<ul style="list-style-type: none"> ・開設されるコミュニティーFMも、ホットラインのように一人暮らし高齢者に対して活用できるのではないか。
黒岩	<ul style="list-style-type: none"> ・国民年金などが口座振り込みだと外出する機会を奪ってしまう。希望していないのに振込となる制度はどうかと思う。先の暮らしを考えた時に自由に選べるようにならないか。
口内	<ul style="list-style-type: none"> ・当地区は人口が減少しており、独身者も多いため人口増加の取組もしてほしい。他の団体と協力して婚活事業を行っているが、社協の婚活事業とも合同で実施してみてもどうか。 ・社会全体が結婚や出産を喜び、生きがいを持って子育てできるようになって欲しいし、そのためには生活の安定が大切だと考える。子供を産み育て地域に貢献できる人材が育つ北上市になって欲しい。
稲瀬	<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報保護もあり、地区の障がい者の名簿が作成できず災害時の支援が遅れてしまうおそれがある。
鬼柳	<ul style="list-style-type: none"> ・市内で起きた虐待事件について、「2回訪問したが会えなかった」という報道があったが。たった2回の訪問であきらめたのか。地域のボランティアに様々な活動が依頼されるが、基となる市がそのような姿勢では地域も頑張れない。
江釣子	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉協力員として活動する中で、プライバシーにどこまで立ち入るのか悩むことがある。協力員の判断やボランティア精神だけで行える活動なのか不安がある。
和賀	<ul style="list-style-type: none"> ・中部地域医療ネットワークシステム協議会の参加医療機関が少ないため、市で改善に取り組んで欲しい。 ・さまざまな福祉の担い手の横の繋がりが大切であり、地域に根付かせるためにも市や社協がコーディネートをして組織化して欲しい。 ・除雪ボランティアはどこまでやればいいのか、困っている人をどこに繋げばよいかなど活動に課題が多い。建設業者等の行う除雪ボランティアとの連携を図ってはどうか。 ・ふれあいデイサービスの移動手段の支援を拡充して欲しい。 ・事業のPR活動をもっと徹底してほしい。 ・乗り合いタクシーよりも移動販売の方が実用的ではないかと思うので検討して欲しい。

4 グループインタビューの結果

(1) グループインタビュー開催一覧

No.	対象	期日	時間	場所	参加者数 (人)
1	北上市自立支援協議会 くらし支援部会	9月27日(木)	14:30～ 14:50	北上市総合福祉センター	13
2	北上市民生委員・児童委員 (地区会長)	10月2日(火)	13:30～ 14:30	北上市総合福祉センター	10
3	子育て支援ボランティア 「パレット」	10月18日(木)	10:30～ 10:45	北上市総合福祉センター	4
4	手話サークル 「虹の会」	10月21日(日)	14:00～ 15:15	北上市総合福祉センター	4
5	北上市ボランティア連絡協 議会	10月30日(火)	19:00～ 19:40	北上市総合福祉センター	3
6	福祉協力員協議会	11月1日(木)	11:00～ 12:15	北上市総合福祉センター	9
7	北上市ケアマネジャー連絡 協議会	11月5日(月)	17:00～ 17:35	さくらホール	5
8	不登校と若者の自立を考え る北上地区父母の会 (竹の子会)	11月17日(土)	10:00～ 11:20	黒沢尻北地区交流センター	6
9	ふれあいデイサービス(黒 沢尻14区)	10月10日(水)	9:30～ 10:00	小幅公民館	15
10	ふれあいデイサービス (更木6区)	10月10日(水)	13:20～ 13:50	大竹公民館	13
11	ふれあいデイサービス (飯豊7区)	10月19日(金)	9:00～ 9:40	成田公民館	26
12	岩手県聴覚障害者協会北 上支部	10月21日(日)	14:00～ 15:15	北上市総合福祉センター	3
13	大通り保育園地域子育て支 援センター	10月24日(水)	11:00～ 11:35	大通り保育園地域子育て 支援センター	16
14	ひとり親家庭ネットワーク事業 親子すまいるハイキング	11月10日(土)		北上市総合福祉センター	14
合 計					128

(2) グループインタビューの概要

地域福祉の推進に必要な施策や活動を検討するに当たり、意見把握を目的として、地域福祉の担い手とサービス利用者である当事者から、ご意見をいただきました。

①北上市自立支援協議会くらし支援部会

課題として、「日常の家事や通院の際にヘルパーなどの援助が必要だが、ヘルパー等が少なく不便を感じている」や「制度を利用する手続きが分かりにくく大変だ」という声がありました。他に、短期入所の受入施設が少なく不安を感じている、一般施設のバリアフリーにもっと配慮が必要だという指摘がありました。複数のニーズを抱える世帯に対して包括的に支援する体制が必要だという意見が出されました。

②北上市民生委員・児童委員（地区会長）

地域により特色のある活動をしており、計画の策定でも除雪や世帯数など地域性に配慮してほしいという意見が多く聞かれました。また、民生委員・児童委員の負担が増加していること、敬老会のありかた、民生委員・児童委員のなり手が不足していることが課題として挙げられました。活動する中では支援が必要な方の情報収集に苦慮しており、行政などに必要な情報の提供してほしいという要望がありました。

③子育て支援ボランティア「パレット」

活動するボランティアが不足しており、子育て中の方にも参加してほしいという声が上がりました。要望としては「無料で遊べる屋内施設が増えてほしい」や「土日にも子育て支援センターを開放してほしい」、「市内全域の子どもが集まるイベントがあればいい」というものがありました。

④手話サークル「虹の会」

会員をもっと増やしていきたいという声がか課題としてあがりました。また、会員募集のための情報発信や、会員間の情報交換の支援を求める声がありました。

⑤北上市ボランティア連絡協議会

会員の高齢化や会員同志の横の繋がりをつくる難しさが課題としてありました。また、活動が見える機会が減りモチベーションの向上に繋がらないという声が上がりました。ニーズの把握や事務の支援を求める意見がありました。

⑥福祉協力員協議会

ふれあいデイサービスの参加者が減少しており、今後の維持が課題として出ました。活動に柔軟に取り組むことが必要という意見がありました。

⑦北上市ケアマネジャー連絡協議会

元気な高齢者に地域活動の活性化を期待する声が聞かれました。多職種による連携への期待の一方で、制度をなかなか使えない人への支援が必要だと声が聞かれました。成年後見制度の活用や、介護の担い手の確保、家族への支援が課題として挙げられました。

⑧不登校と若者の自立を考える北上地区父母会（竹の子会）

当事者への理解や支援がまだ十分ではなく、一人ひとりの個性や特性にあわせた対応が必要だという意見が聞かれました。「いつでも行ける場を設けてほしい」、「就労支援も含めた人材育成があればいい」など交流や社会参加に対する要望がありました。

⑨ふれあいデイサービス参加者

参加者からは「毎回とても楽しみにしている」や「みんなに会えるので楽しい」という声が出ました。一方で課題としては、参加者が固定化しており新規の参加者が増えないことや、金銭面の支援の充実、運営側のなり手不足が挙がりました。また、地域の交通手段の改善を求める声や除雪の苦勞についての声が多く聞かれました。

⑩岩手県聴覚障害者協会北上支部

会員が高齢化しており、新規会員を増加させることが課題であるとのことでした。また、活動資金の確保に苦慮しているという声がありました。必要な人に手話通訳を提供するため、福祉避難所の集約化やイベントでの手話通訳の活用を求める意見がありました。

⑪大通り保育園地域子育て支援センター

保育園・幼稚園の充実や公園の整備をしてほしいという要望がありました。地域の状況がわからない、インターネットを活用するなど情報の発信に工夫が必要だという指摘がありました。また、子育て支援センターを土日も利用したいという意見がありました。

⑫ひとり親家庭ネットワーク事業親子すまいるハイキング参加者

経済面の不安や仕事と家庭の両立の大変さについての声が多く聞かれました。学習支援事業の拡充や、学校などが休みの日のサポート、雪かきの支援が要望として出されました。